

經營學部

履修要項

昭和 57 年度

駒澤大學

学 年 曆

前 期

- 4月8日(木) 积尊降誕会
 10日(土) 入学式(学部・短大・大学院)
 12日(月) } 新入生オリエンテーション
 14日(木) }
 13日(火) } 在校生成績発表
 (学部・短大・大学院)
 14日(水) } 授業開始
 15日(木) } 在校生成績質疑応答
 17日(土) }
 21日(水) } 1年次生単位履修届受付
 22日(木) }
 23日(金) } 天皇誕生日 } 2・3・4年次生
 29日(火) } 単位履修届受付
 30日(金) } (学部により受
 付日が異なる)
 5月1日(土) 祝禱日
 3日(月) 憲法記念日
 4日(火) 研修日(全学休業)
 5日(水) こどもの日
 19日(水) }
 28日(金) } 2・3・4年次生健康診断
 6月1日(火) 祝禱日
 10日(水) 卒業論文論題提出〆切
 7月1日(木) 祝禱日
 12日(月) } 中間試験
 15日(木) } (授業平常通り)
 17日(土) }
 19日(月) } 前期定期試験(前期終了科目)
 (授業休講)
 20日(火) }
 21日(水) } 夏期休暇第1日

後 期

- 9月13日(月) 授業再開
 14日(火) 前期定期試験欠試届(追試申込)
 提出〆切
 15日(水) 敬老の日
 16日(木) 外国語指定届受付(22日まで)
 (仏教・文(除英米文)・法学部
 及び短大英文の1年次生、経
 済学部の2年次生)
 16日(木) } 前期定期試験成績発表および
 } 再試験申込受付
 17日(金) }
 23日(木) } 秋分の日
 27日(月) } 前期追・再試験(授業平常通
 } り)
 28日(火) }

- 29日(水) 両祖忌
 10月1日(金) }
 } 祝禱日 } 社会学科(1年次生)・
 } 歴史学科(2年次生)・
 } 専攻コース指定届受付
 2日(土) }
 4日(月) } 達磨忌 } 1年次生健康診断
 5日(火) }
 7日(木) } 体育の日
 10日(日) } 第100回開校記念日
 15日(金) } (全学休業)
 16日(土) }
 19日(火) } 前期追・再試験成績発表
 }
 20日(水) }
 11月1日(月) 祝禱日
 3日(水) 文化の日
 21日(日) 瑠山禪師降誕会
 23日(火) 勤労感謝の日
 12月1日(水) 祝禱日 } 転部科試験願書受付
 3日(金) }
 6日(月) 編入学願書受付(14日まで)
 8日(水) 成道会
 10日(金) 卒業論文提出〆切(正午)
 10日(金) 転部科試験
 20日(月) 冬期休暇第1日
 21日(火) 編入学試験

昭和58年

- 1月10日(月) 授業再開
 15日(土) 成人の日
 17日(月) } 定期試験(専門・基礎・教職
 } 科目)
 }
 27日(木) }
 26日(水) } 道元禪師降誕会
 28日(金) }
 2月1日(火) 祝禱日 } 定期試験(一般・外
 } 国語・体育科目)
 5日(土) }
 7日(月) 定期試験欠試届提出〆切
 8日(火) 卒業論文口頭試問(後日掲
 示発表)
 11日(金) 建国記念の日
 15日(火) 涅槃会
 21日(月) 学部4年次生・短大生成績発
 22日(火) 表および追・再試験申込受付
 28日(月) } 学部4年次生・短大
 } 生追・再試験, 学部
 3月1日(火) 祝禱日 } 1・2・3年次生追試
 } 験
 5日(土) }
 19日(土) } 卒業者名簿発表
 21日(月) } 春分の日
 25日(金) } 卒業式・大学院修了式

目 次

I	単位制と学年制	(2)
	1. 単位と学年	(2)
	2. 授業科目の単位計算	(2)
	3. 授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
	1. 卒業に必要な単位	(3)
	2. 学 士 号	(4)
III	授業科目の履修方法	(5)
	1. 一般教育科目の履修方法	(5)
	2. 外国語科目の履修方法	(6)
	3. 保健体育科目の履修方法	(8)
	4. 基礎教育科目の履修方法	(10)
	5. 専門教育科目の履修方法	(10)
	6. 随意科目の履修方法	(12)
	7. 再履修科目の履修方法	(12)
	※コード番号について	(13)
IV	履修科目の登録(履修届)とその作成順序	(16)
	1. 履修科目の登録	(16)
	2. 履修届記入上の注意	(17)
	3. 履修届の作成順序	(18)
V	試験および成績評価	(19)
	1. 定期試験	(19)
	2. 中間試験	(19)
	3. 追・再試験	(19)
	4. 成績評価・単位認定	(20)
	5. 進級基準	(20)
	6. 受験者心得	(20)
VI	クラス制およびクラス主任	(22)
VII	教職課程・資格講座	(22)
VIII	事務取り扱いについて	(23)
IX	届書・願書について	(25)
X	各種証明書取扱い窓口	(26)
	講 義 内 容	(27)

I 単位制と学年制

1. 単位と学年

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、授業科目を履修することにより、各授業科目に一定の基準によって与えられている単位を修得することである。従って、各入学年度の履修要項に定められている卒業に必要な単位を4年以上（7カ年をこえてはならない）の在学期間中に修得すれば卒業の資格が得られる。

しかしながら、本学では単位修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目で配当されているから、単位制と学年制の総合された学修制度といえる。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1 単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は、教室内における授業時間と、教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なる。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）
 - (a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目
 - (b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目
 - (c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

II 卒業に必要な単位数と学士号

1. 卒業に必要な単位数

A 56年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	16	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	82	
	選 択	18	70		

B 53～55年度入学生に適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	分 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	14	
	第 2 外 国 語	3	6		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	4	14	84	
	選 択	18	70		

C 52年度以前の入学生に適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	14	
	第 2 外 国 語	3	6		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	5	16	84	
	選 択	17	68		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、経営学士の称号が与えられる。

Ⅲ 授業科目の履修方法

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし、随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。(再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない)
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年で履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修しても認定されない。

1. 一般教育科目の履修方法

人文分野 4 単位ずつ 4 科目 計 16 単位 }
 社会分野 4 単位ずつ 3 科目 計 12 単位 } 合計 9 科目 36 単位
 自然分野 4 単位ずつ 2 科目 計 8 単位 }

※2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」 ・「宗教学Ⅱ」の2科目を含めて 4科目選択必修	16	36	教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4				
	哲学	4				
	論理学	4				
	倫理学	4				
	文芸史	4				
社会分野	法学憲法 (日本国憲法2単位を含む)	4	3科目選択必修	12	36	教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする
	社会学 (2年次)	4				
	地理学	4				
	統計学 (2年次)	4				
	文化人類学	4				
自然分野	自然科学概論	4	2科目選択必修	8	36	教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする
	数学	4				
	心理学 (2年次)	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は木曜日に玉川校舎(道順は学生部で配布の大学手帳を参照)で行う。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・独語・仏語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。ただし、56年度以降入学生は第1外国語が英語、第2外国語は他の外国語となる。

履修年次	第1外国語		第2外国語	
	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2科目	4	2科目	4
2年次	2科目	4	2(1)科目	4(2)
計	4科目	8	4(3)科目	8(6)

※()内の数字は55年度以前の入学生に適用

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目で4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数	備考
英語 1G	2	文法	1G・1R 2科目を必修とする。ただし英会話もしくは英語LLで2科目中の1科目を代替できる。56年度以降入学生は第1外国語となる。	LL (ランゲージ・ラボラトリー)
英語 1R	2	講読		
英会話	2			
英語 LL	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
独語 1G	2	文法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1R 2科目を必修。56年度以降入学生は第2外国語となる。	
独語 1R	2	講読		
仏語 1G	2	文法		
仏語 1R	2	講読		
中国語 1G	2	文法		
中国語 1R	2	講読		
スペイン語 1G	2	文法		
スペイン語 1R	2	講読		
ロシア語 1G	2	文法		
ロシア語 1R	2	講読		

※「英語1R」の授業は木曜日に玉川校舎で行う。

2 2年次の履修

A 56年度以降入学生適用

1年次で履修の2カ国語を、それぞれ2科目ずつ計8単位必修とする。

第1外国語（英語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	備 考
英 語 2 A I	2	講 読	
英 語 2 A II	2	〃	

第2外国語（1年次で履修の英語以外の1カ国語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
独 語 2 A I	2	講 読	スペイン語 2 I A	2	講 読
〃 2 A II	2	〃	〃 2 A II	2	〃
仏 語 2 A I	2	〃	ロシア語 2 A I	2	〃
〃 2 A II	2	〃	〃 2 A II	2	〃
中国語 2 A I	2	〃			
〃 2 A II	2	〃			

B 55年度以前の入学生に適用

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし、2 A I・2 A IIの2科目4単位、他方を第2外国語として2 Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

第1外国語（指定した外国語の2 A I・2 A IIの2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 A I	2	講 読	中国語 2 I A	2	講 読
〃 2 A II	2	〃	〃 2 A II	2	〃
独 語 2 A I	2	〃	スペイン語 2 A I	2	〃
〃 2 A II	2	〃	〃 2 A II	2	〃
仏 語 2 A I	2	〃	ロシア語 2 A I	2	〃
〃 2 A II	2	〃	〃 2 A II	2	〃

第2 外国語（指定した外国語の2Bを1科目2単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 B	2	講 読	中 国 語 2 B	2	講 読
独 語 2 B	2	//	ス ペ イ ン 語 2 B	2	//
仏 語 2 B	2	//	ロ シ ア 語 2 B	2	//

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下4ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1年次生で英語2科目のうち、1科目を英語LLで代替しようとする者は、受講人員に制限があるため、単位履修届提出前にLL事務室まで申し出ること。（7号館4階）
- ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ホ. 2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

3. 保健体育科目の履修方法

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体育実技	2	

- イ. 講義の前期・後期の別は授業時間表で指定する。
- ロ. 講義、実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。
- ハ. 講義、実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。
- ニ. 講義、実技とも木曜日に玉川校舎で授業を行う。

体育実技履修上の注意

イ. 授業について

前期・後期ともそれぞれ履修時間に含まれている数種目の中から希望する種目を選択

し受講する。ただし、前期と後期は同一種目を選択することはできない。

(a) 種目選択届

最初の授業時間に、前期・後期ともつぎの履修時間に含まれている数種目の中から、決定するので、必ず出席すること。

(b) 単位履修届

教務部に提出する「単位履修届」の科目名、担任名は授業時間表による科目名 担任名を記入すること。選択した種目名また種目の担任名ではない。

木・2			木・3		
ハンド	◎村	松	ハンド	村	松
陸上	森	本	サッカー	秋	田
庭球	牧	野	庭球	牧	野
体操	三	幣	体操	◎三	幣
空手	高	橋	空手	高	橋
相撲	館	岡	相撲	館	岡

再履修クラス（2年次生以上の再履修者のクラスで授業は本校で行う）

火・3	
球技	◎宮 沢
剣道	上 山

水・1		水・2	
球技	◎原 山	球技	◎原 山
剣道	上 山	剣道	上 山

※◎印は講座主任

ロ. 単位の認定について

1年間の授業を通して2単位を認定する。前期と後期は種目選択の上で便宜上分けられるもので、あくまでも1年間の授業を通して単位を認定する。

ハ. 評価について

週一回の授業を真剣に受講することが実技の重要な意味であることから本学においては出席を評価の上で最も優先させている。この基盤の上に立って前期・後期それぞれの種目において行われる実技試験の点数、および平常の授業における態度が加味されて、実技の評価が行われる。

ニ. 校外学習

夏と冬の二回にわたって実施する。参加は希望制であり人数の制限がある。これは単位認定とは直接関係のない保健体育部主催の行事であるが、実技を受講している学生が参加した場合には評価の上で幾分か加味される。

ホ. 見学について

身体の具合が悪い場合は、担任教員にその旨を報告し、授業を真面目に見学すること。

※長期見学者：前期または後期をほとんどあるいは全部見学せざるを得ない精神および

身体上の故障や病気を持っている場合は長期見学者として取り扱い、毎時間の真面目な見学をもって出席に代える。また、実技テストは行わずレポートをもってこれに代える。レポートの課題については担任教員より指示を受けること。

へ. 服装・更衣について

種目毎に、それぞれの担任教員の指示に従い、指定された場所以外では着替えないこと。

ト. 盗難・事故・負傷について

(a) 盗難：実技の受講日には貴重品は持参しないこと。やむを得ず持参した場合には担任教員に指示を受けること。最近特に実技の時間を狙った常習者が横行しているので充分注意してほしい。

(b) 事故・負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には直ちに担任教員に報告し適切な指示を受けること。

チ. 掲示板の利用について

実技上の連絡は、玉川校舎事務室前の掲示板および玉川校舎入口の黒板に掲示するので、平常よく見ておくこと。

4. 基礎教育科目の履修方法

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次1科目4単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目に分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって充分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

必修科目

- A. 56年度以降の入学生適用 3科目12単位
- B. 53～55年度の入学生適用 4科目14単位
- C. 52年度以前の入学生適用 5科目16単位

1 年 次 必 修			2 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4	旧 簿 記	經 営 学	4	
プロゼミ I	2	55年度以前の入 学生のみ必修	会 計 学	4	
			プロゼミ II	2	52年度以前の入 学生のみ必修

選択科目

- A 56年度以降の入学生は70単位以上
 B 53～55年度の入学生は70単位以上
 C 52年度以前の入学生は68単位以上

1 年 次 選 択			3 年 次 選 択			3 年 次 選 択		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
プロゼミ I	2	※イ	經 営 統 計	4		演 習 I	4	
2 年 次 選 択			經 営 情 報 論	4		3・4年次選択		
經 営 史	4		經 営 組 織 論	4		外 書 講 読	4	
経済学原理	4		經 営 技 術 論	4		4 年 次 選 択		
經營管理論	4		商 業 經 営 論	4		銀行經營論	4	
原 価 計 算	4	※ハ	公 益 企 業 論	4		財 政 学	4	
企業形態論	4		保 險 經 営 論	4		国際經濟論	4	
統計原論	4		金 融 論	4		貿易經營論	4	
日本經濟史	4		貿 易 政 策	4		会 計 監 査	4	
民 法 I	4		商 法 I	4		税 務 会 計	4	
プロゼミ II	2	※ロ	民 法 II	4		証券市場論	4	
3 年 次 選 択			經 済 政 策	4		日本經營史	4	
經營学史	4		經 営 科 学	4		商 法 II	4	
經營勞務論	4		簿記理論特別講義	4		勞 働 法	4	
經營財務論	4		アメリカ經營学	4		演 習 II	4	
管理会計論	4		經營分析論	4				
簿記原理	4		日本經濟論	4				

※イ 55年度以前の入学生はプロゼミ I を必修とする。

ロ 52年度以前の入学生はプロゼミ II を必修とする。 ハ 旧工業簿記及び原価計算

6. 随意科目の履修方法

随意科目は2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比較思想特講	4		日 本 語 F	2	
独 語 F	2		独 語 FLL	2	
仏 語 F	2		仏 語 FLL	2	
中 国 語 F	2		中 国 語 FLL	2	
スペイン語 F	2		スペイン語 FLL	2	
ロシア語 F	2		ロシア語 FLL	2	

※日本語Fは留学生対象の科目で1年次生より履修できる。

7. 再履修科目の履修方法

- イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。
- ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなして制限科目数内で履修しなければならない。（休学の場合も同様）
- ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届出なければならない。
- ニ. 簿記学，プロゼミⅠ（55年度以前の入学生），プロゼミⅡ（52年度以前の入学生）の再履修については次のとおり。
- (a) 「簿記学」を再履修するものは「簿記学再クラス」を履修すること。
 - (b) 「プロゼミⅠ」また「プロゼミⅡ」を再履修するものは、授業時間表の中から任意のクラスでそれぞれ履修すること。なお必修コード番号は授業時間表の〔注意〕欄を参照のこと。
- ホ. 外国語・体育実技・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし留年者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。
- ヘ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

※コード番号について

1 授業科目コードの設定方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 科目コードの区分



(a) 学部, 学科番号は学生番号欄での説明のとおり

(b) 系列, 分野区分について

授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人 文 分 野		1(必修)・2(選択)
社 会 分 野		3
自 然 分 野		4
基礎教育科目	1	5
外国語科目	2	
第 1 外国語		
第 2 外国語		
保健体育科目	4	
体 育 実 技		1
保健体育理論		2
専門教育科目	5	
必 修 科 目		1.2.3
選 択 科 目		5.6.7.8
随 意 科 目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必 修 科 目		1
選 択 科 目		2
教 科 科 目		3.4.5.6.7.8

2 学生番号について

学生番号は8桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 学生番号区分

・ 入 学 年 度 (西 曆)	・ 学 籍 異 動	・ 学 部	・ 学 科	一連番号			

(例) 正規学生番号

2	0	5	1	0	0	0	1
・ 82 年 入 学	・ 事 故 な し	・ 経 営 学 部	・ 経 営 学 科	一連番号(1番)			

ロ. 学籍異動の番号について

0—正規の学生

1—留年

2—転部科

3—編入

4—留年をして転部科

転部科・編入をして留年

(例 I) 留年学生番号

1	1	5	1	0	0	1	1
・ 81 年 入 学	・ 留 年	・ 経 営 学 部	・ 経 営 学 科	一連番号(11番) (留年のつど変わる)			

(例 II) 編入学生番号 (56年度3年編入)

0	3	5	1	0	0	2	2
・ 履 修 要 項 度 (80)	・ 適 用 年 度 入	・ 編 入	・ 経 営 学 部	・ 経 営 学 科	一連番号(22番)		

3 学部・学科の番号表

学部・学科名	学部番号	学科番号	学部・学科名	学部番号	学科番号
仏教学部	1		法学部	4	
禅学科		1	法律学科		1
仏教学科		2	政治学科		2
文学部	2		経営学部	5	
国文学科		1	経営学科		1
英米文学科		2	短期大学	8	
地理学科		3	国文科		1
歴史学科		4	英文科		2
社会学科		5	放射線科		3
経済学部	3				
経済学科		1			
商学科		2			

IV 履修科目の登録

(履修届)とその作成順序

1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科，学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び，所定の「単位履修届」用紙に必要事項を記入し届出ることにより，通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数は次表のとおりとする。

年 次	新規履修科目数	再履修を含む科目数	課程・講座登録者 科目数
1 年 次	15	—	—
2 年 次	5 以上12以内	17 以 内	17 以 内
3 年 次	5 以上12以内	17 以 内	17 以 内
4 年 次	2 以上14以内	17 以 内	17 以 内

(注) 随意科目は制限科目数の枠外とする。

II) 登録上の注意

- イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。
(提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは事前に教務部窓口相談すること)
- ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。
- ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。
- ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。
- ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。
- ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読み，間違いのないように登録すること。

2. 履修届記入上の注意

授業時間表 (例)

	月 曜 日			
	科目名	科目コード	担任	担任コード
一 時 限	独 語 1 G	312201	百 済	879
	~~~~~			
二 時 限	保健体育理論(前)	314201	長 浜	993
	保健体育理論(後)	314201		622
~~~~~				
三 時 限	宗 教 学 I	310101	平井(俊)	735
~~~~~				
四 時 限	論 理 学	310203	岩 野	093
	自然科学概論	310401	大 森	156
~~~~~				
五 時 限	体 育 実 技	314101	大石(武)	141

正しい記入例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担任	担任コード
(1)	1		独 語 1 G	3 1 2 2 0 1	百 済	8 7 9
	2		保健体育理論(前)	3 1 4 2 0 1	長 浜	9 9 3
	3		宗 数 学 I	3 1 0 1 0 1	平井(俊)	7 3 5
	4		論 理 学	3 1 0 2 0 3	岩 野	0 9 3
	5		体 育 実 技	3 1 4 1 0 1	大石(武)	1 4 1

- 楷書体で正確に記入すること。
- 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
- 授業時間表のとおり記入すること。
- 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
- 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。
- 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
 - 科目名・科目コード・担任名・担任コードが一致しない場合
 - 時限を誤って記入した場合
 - 間違い易い数字で記入した場合 (例, 0と6・1と7)
 - その他, 不明瞭に記入した場合
- 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
- 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
- 履修届の本人控を正確に記入し、紛失しないように保管すること。

3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技（必修）	2
4	基礎教育科目	経済学概説（必修）	1
5	専門教育科目	簿記学（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 社会分野 } 開講科目の中から5または6科目選択 自然分野 } 必修（不足単位は2年次で履修）	6
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

V 試験および成績評価

1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月ないし2月に実施される。
- ロ. 受験にあたっては、正規の手続きを経て登録した授業科目であること。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上提出すること。なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原割として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。
(注) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等掲示に充分注意すること。

2. 中間試験

授業科目によって担任者が独自に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

3. 追・再試験

I 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(メ締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

II 再試験

- 1・2・3年次生については、再試験は一切実施しない。
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

III 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技・演習・プロゼミは追・再試験ともこれを行わない。

- ロ. 外国語科目についても追・再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

4. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優（100点～80点）・良（79点～70点）・可（69点～60点）および不可（59点～0点）とし可以上を合格、不可は不合格とする。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については規定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は70点以下とする。

5. 進級基準

◎正規進級

上級学年に進級する場合は下記の単位数の取得を要する。

- イ. 1年次から2年次に進級する場合、卒業所要単位のうち30単位以上。
- ロ. 2年次から3年次に進級する場合、卒業所要単位のうち60単位以上。
- ハ. 3年次から4年次に進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上。
ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

◎注意進級

正規の進級基準には達しないが教育的配慮から進級を認める。ただし注意進級が、再度つづく場合には、取得単位の不足から4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

- イ. 1年次から2年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
- ロ. 2年次から3年次に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
- ハ. 3年次から4年次に注意進級する場合、卒業所単位のうち90単位以上を取得するも、その内一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の不合格単位数の合計が16単位までとする。ただし17単位以上は留年とする。

6. 受験者心得

- イ. 指定された試験場（教場）で受験すること。
- ロ. 学生証を所持しない学生は、いかなる理由があっても受験できない。また、学生証は監督者が見やすいように通路側に提示しておくこと。
- ハ. 試験開始より30分以上遅刻した者は受験できない。また開始後30分を経過するまで退場できない。

ニ. 答案の作成はペン書き（ボールペン可）を原則とする。とくに、学部・学科・学年・番号・氏名は必ずペン書きにし、解答にかかる前に記入すること。

ホ. 次の場合は退場を命じ、その答案を無効とする。

- (1) 私語や態度の不正なもので注意しても改めないとき
- (2) 許可なく物品・教科書・ノート類を貸借したとき
- (3) 監督者の指示に従わないとき

ヘ. 次の場合には、その答案を無効とする。

- (1) 無記名のもの
- (2) 配布された答案用紙以外のものを用いたとき
- (3) 指定された場所に提出しないとき

ト. 答案用紙は指定の枚数だけ配布し、原則として書き損じても再交付しない。

チ. 受験中に不正行為があつて、当該教授会が不正行為と認定したときは、学則第57条により懲戒する。なお、懲戒は全学に公示する。

リ. 以上のほか、試験場内の秩序維持はすべて監督者の指示による。

VI クラス制およびクラス主任

- イ. 1・2年次は学科毎にクラス制をとっている。
- ロ. クラスにはクラス主任（教員）が1名ずつおり、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから、これ等のことについては遠慮なく相談されたい。

VII 教職課程・資格講座

経営学部で開講されている資格取得の課程・講座は教職課程および学校図書館司書教諭、社会教育主事の1課程2講座である。

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学に於いて教職課程の所定単位を修得したもには、中学校・高等学校の各免許状が与えられる。

学校図書館司書教諭、社会教育主事の各講座は、学校教育とならんで重要な社会教育の代表的な施設である図書館、青少年教育施設などの専門職員となる有資格者を養成するために設けられているものである。

課程・講座の履修希望者は1年次の秋（11月中旬）にガイダンスを開催するので、2年次から資格取得のため、科目履修を予定している者はこのガイダンスに出席し「教職課程・資格講座受講の手びき」をもらうこと。（授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること。）

詳細については掲示板で発表する。

○開講されている課程・講座

課程・講座名	
教 職 課 程	2年次より
学校図書館司書教諭講座	//
社会教育主事講座	//

課程・講座の履修は実習の関係上、3・4年次からの登録による履修は認めない。

VIII 事務取り扱いについて

1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後5日以内に教務部③番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績証明書は卒業年度生以外は原則として発行しない。
- ニ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。

2. 授業時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:50～ 14:20	14:30～ 16:00	16:10～ 17:40

3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表・各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、第3掲示板（6号館横）に掲示するか、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部①番窓口に出してその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、国電（山手，中央，京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

掲示板の使用区分

- (イ) 第1 掲示板 (7号館前)
公示・告示・その他連絡事項
- (ロ) 第2 掲示板 (6号館横)
学部別連絡事項・その他
- (ハ) 第3 掲示板 (6号館横)
休講・教職・その他
- (ニ) 第4 掲示板 (6号館横)
研究室専用

6. 問 い 合 わ せ

事務室への電話による質問(行事予定, 休講, 授業, 学籍, 試験, 成績, その他)は, 間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要あるときは, 必ず登校のう え, 掲示板を見るか, 関係事務室窓口で問い合わせること。

IX 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類	要 領	必 要 書 類	本人印	保証人印	取扱窓口	
届 書	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に修得しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(メ切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	③
	卒業論文論題届 (仏教・文学部のみ)	各学部掲示板にて指示するので、指定期間内に指導教授の承認印を受け、届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑥
	本 籍 地 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑥
	保 証 人 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 在学誓書(保証書)添付	要	要	⑥
	保 証 人 住 所 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑥
	死 亡 届	/	所定用紙あり 死亡診断書添付	/	要	⑥
願 書	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学することができないときは、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり 傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑥
	復 学 願	願い出により休学した者が復学する場合は、毎学年の始めとし、保証人連署の上願い出て復学の許可を得なければならない。 「復学願」の提出は4月初旬までとする。	所定用紙あり 傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑥
	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり 学生証添付	要	要	⑥
	転部(科)・転学願	事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり (転学はなし)	要	要	①

X 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成 績 証 明 書	教務部④番	一通 100円 (英文証明書) 一通 300円
卒 業 (見 込) 証 明 書		
学 士 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
単 位 修 得 証 明 書 (教職、司書教諭、学芸員、社会教育、社会福祉)		
一般教養科目修了(見込)証明書		
満期退学(見込)証明書 (博士後期)	教務部⑤番	
修了(見込)証明書(修士)		
修 士 証 明 書		
在 籍 証 明 書 (中途退学者に限る)	教務部⑥番	
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	医 務 室	
在 学 証 明 書	学 生 部	無 料
学 割		
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付(郵送料は現金で経理部窓口へ納入)の上、取扱い窓口に申し込むこと。

発行は原則として3日後。ただし教務部取扱い証明書は、6月下旬より10月中旬と3月は大変混雑が予想されるので、掲示に注意し、充分余裕をもって申し込むこと。

講 義 内 容

講義内容目次

一般教育科目

人文分野

宗教学 I (伊藤 隆寿).....	(31)
宗教学 I (佐藤 達玄).....	(31)
宗教学 I (石川 力山).....	(31)
宗教学 I (再クラス) (吉津 宣英).....	(31)
宗教学 I (再クラス) (松本 皓一).....	(32)
宗教学 II (峯岸 孝哉).....	(32)
宗教学 II (椎名 宏雄).....	(32)
宗教学 II (原田 弘道).....	(32)
宗教学 II (皆川 広義).....	(33)
哲学 (戸田 洋樹).....	(33)
論理学 (久保 陽一).....	(33)
倫理学 (並木 康三).....	(33)
文学 (新井 章).....	(34)
文学 (三宅 武治).....	(34)
歴史学 (茂澤 方尚).....	(34)

社会分野

法学憲法 (関口 雅夫).....	(34)
法学憲法 (西 修).....	(35)
社会学 (岩上 真珠).....	(35)
地理学 (中島 義一).....	(35)
統計学 (後藤儀一郎).....	(35)
文化人類学 (佐々木宏幹).....	(35)
文化人類学 (村武 慶).....	(36)

自然分野

自然科学概論 (宇和川正人).....	(36)
自然科学概論 (三野 英彦).....	(35)
数学 (福田 賢一).....	(36)
心理学 (茅原 正).....	(36)
心理学 (松岡 洋一).....	(37)

保健体育科目

体育実技.....	(38)
-----------	------

随意科目

比較思想特講 (窪 徳忠).....	(14)
独 語 F (吾妻雄次郎).....	(41)
独 語 F L L (小林佳世子).....	(41)
仏 語 F (加藤 節子).....	(41)
仏 語 F L L (マドレーヌ・マ ルタン).....	(42)
仏 語 F L L (松岡 宏一).....	(42)
中国語 F (堀田 洋子).....	(42)
中国語 F L L (果 荃英).....	(42)
スペイン語 F (佐藤玖美子).....	(42)
スペイン語 F L L (フワン・ナバロ).....	(43)
ロシア語 F (タチャーナ・ パリーソヴナ・野村).....	(43)
ロシア語 F L L (タチャーナ・ パリーソヴナ・野村).....	(43)
日本語 F (留学生対象) (杉山 秀子).....	(43)

基礎教育科目

経済学概説 (滝田 公一).....	(44)
--------------------	------

専門教育科目

簿記学 (近藤 禎夫).....	(45)
簿記学 (中平 榮一).....	(45)
簿記学 (渡辺恵一郎).....	(45)
簿記学 (木下 照藏).....	(45)
簿記学 (花堂 靖仁).....	(46)
簿記学 (再クラス) (片桐 伸夫).....	(46)
簿記学 (再クラス) (木下 照藏).....	(46)
プロゼミ I (会計コース) (長松 秀志).....	(46)
プロゼミ I (経済コース) (永田 智則).....	(46)
プロゼミ I (経営コース)	

(石名坂邦昭).....(47)	アメリカ経営学(宮城 徹).....(52)
プロゼミ I (経営コース)	経営労務論(掛谷力太郎).....(53)
(宮城 徹).....(47)	経営財務論(高田 光明).....(53)
プロゼミ I (会計コース)	管理会計論(長松 秀志).....(53)
(近藤 禎夫).....(47)	経営組織論(平山 健二).....(53)
経営学(鈴木 幸毅).....(47)	経営技術論(小野寺孝一).....(54)
会计学(久松 治夫).....(48)	商業経営論(武田 康).....(54)
経営史(前田 和利).....(48)	保険経営論(石名坂邦昭).....(54)
経済学原理(中村雄次郎).....(48)	公益企業論(石井彰次郎).....(54)
経営管理論(鈴木 幸毅).....(48)	日本経済論(羽鳥 茂).....(55)
原価計算(近藤 禎夫).....(49)	経済政策(西山 司).....(55)
企業形態論(渡辺 行男).....(49)	金融論(石野 典).....(55)
統計原論(後藤儀一郎).....(49)	貿易政策(永田 智則).....(55)
日本経済史(内藤 二郎).....(50)	商 法 I (関口 雅夫).....(56)
民法 I (柿本 啓).....(50)	簿記理論特別講義(久松 治夫).....(56)
プロゼミ II (経営コース)	簿記原理(渡辺恵一郎).....(56)
(北村健之助).....(50)	経営統計(後藤儀一郎).....(56)
プロゼミ II (会計コース)	経営分析論(片桐 伸夫).....(57)
(中平 榮一).....(50)	経営情報論(加藤 武信).....(57)
プロゼミ II (会計コース)	民法 II (河野 弘矩).....(57)
(久松 治夫).....(50)	経営科学(藤沢袈裟利).....(57)
プロゼミ II (経営コース)	財政学(山口 忠夫).....(58)
(前田 和利).....(50)	国際経済論(池田 健).....(58)
プロゼミ II (経済コース)	貿易経済論(武田 康).....(58)
(滝田 公一).....(51)	会計監査(中平 榮一).....(58)
外書講読(英)(小野寺孝一).....(51)	税務会計(鈴木 明男).....(58)
外書講読(英)(高田 光明).....(51)	商 法 II (荒木 正孝).....(59)
外書講読(英)(羽鳥 茂).....(51)	労働法(掛谷力太郎).....(59)
外書講読(独)(百済 勇).....(51)	証券市場論(柿崎 暎次).....(59)
外書講読(仏)(中村雄次郎).....(52)	日本経営史(山田 勝).....(59)
外書講読(中)(陳 繼昌).....(52)	銀行経営論(本間 靖夫).....(60)
外書講読(ス)(細川 幸夫).....(52)	演 習 I (滝田 公一).....(60)
経営学史(北村健之助).....(52)	

一般教育科目

人文分野

宗 教 学 I

伊 藤 隆 寿

人間と宗教とのかかわりを発端として、宗教の諸相、宗教の歴史（原始・古代・民族・世界の各宗教）を概観し、最後に仏教の基本的教えと展開を述べる。

〔教科書〕 『宗教学 I』（更生社） ¥ 1,950

宗 教 学 I

佐 藤 達 玄

人間にとって宗教はなぜ必要か、そして宗教が社会・文化とどう関わりをもっているかを明らかにし、仏教の社会的役割を考究する。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

宗 教 学 I

石 川 力 山

前期は、宗教とは何かという問題を、現象面を主として考察し、さらに、個人と宗教、社会と宗教、国家と宗教等の諸問題について、機能論、文化論、人間論的立場から考えてみたい。

後期は、世界的宗教、普遍的宗教といわれるイスラム教・キリスト教・仏教について、歴史的に概観し、特に日本人の日常生活や精神文化の形成に多大な影響を与えた仏教思想について詳しくふれ、日本人と宗教、現代と宗教の問題についても言及したい。

〔教科書〕 駒沢大学仏教学研究室編『宗教学 I』（更生社）

〔参考書〕 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

宗 教 学 I (再クラス)

吉 津 宜 英

宗教というと何か高い所から下に向かって示されるようなものとする諸君があるかもしれない。確かに教団を持っている場合には組織というものがあり、教祖と呼ばれる人から平の信者に至るまでの上下の関係があつて、上意下達形になっていることも事実である。しかし、我々はもっと自由人の発想で宗教を考えてよいのではあるまいか。私はこの人生を責任をもって生きることが宗教だと思っている。宗の所に責任という意味を読み、

教とはどのように生きるかを学ぶことだと思う。この授業は教科書にそって行すが、基本的態度は以上のことを眼目とする。最後のテストだけではなく、年間何回かのレポート提出をも御願いたい。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

宗 教 学 Ⅰ（再クラス）

松 本 皓 一

人間にとって宗教とは何であるか、その意味や働きを考えながら、宗教全体を展望し、後半では仏教について述べる。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

宗 教 学 Ⅱ

峯 岸 孝 哉

ここでは中国において成立し、大いに展開発展を遂げた禅仏教の解説を内容としているが、宗教学Ⅰと共通の視点に立って解説はすすめられる。つまり人間の抱える諸問題に、この禅仏教がどのようにかかわってきたか、また現にかかわっているかについて、最近の禅の理論や文化論の立場から考えてみたい。このような試みを通して、禅の考え方や行動を探る。

〔教科書〕 『宗教学Ⅱ』（更生社）

〔参考書〕 柳田聖山『禅語録』〔世界の名著 続3〕（中央公論社）

宗 教 学 Ⅱ

椎 名 宏 雄

本講座は、さまざまな仏教形態の中で、すぐれた特性をもつ禅について、その歴史・思想・文化などを講義形式で説明し、学問的な理解をはかるものとする。ただ、一方通行的な講義に終始することを避け、毎時間、講義内容と関連した身近なテーマをかかげ、それを学生諸君とともに考えてゆきたい。

〔参考書〕 録田茂雄『現代人の仏教』（月刊ペン社） ¥ 980

関 大徹『食えなんたら食うな』（山手書房） ¥ 900

宗 教 学 Ⅱ

原 田 弘 道

仏教就中禅を中心に講義を進めていく。まず禅及び禅宗の歴史的展開を追いながら、禅とは何か、人間生活と禅の真理、禅的生活の展開、禅と文化、禅と現代といった問題を順次とりあげて行く。

そして禅の日常性の構造、禅における公衆の意義とその解説、禅の人間像、実践規範といった具合に具体的にとりあげて、諸君の理解に資したい。禅と文化、禅と現代において

は、広く禅と芸術、西欧思想と禅との関係相違についても触れるつもりである。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

宗 教 学 Ⅱ

皆 川 広 義

はじめに、日本人の心に大きな影響をあたえてきた仏教について、教主釈尊の教えを中心に概説する。

次に、仏教のなかで、生活化された仏教といわれる禅について、その歴史を中国・日本へとたどりながら、思想や創造した禅文について考究したい。

〔教科書〕 『宗教学Ⅱ』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

哲 学

戸 田 洋 樹

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表現し、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているかの自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識の習得にも努める。

論 理 学

久 保 陽 一

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむろんのこと、日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得をする。

倫 理 学

並 木 康 三

倫理学とは、人間にとって何が善であり、幸福であるかを教え、この幸福を実現するための方法として人間が為さねばならぬ徳の実践を要求する学問である。

かかる認識の下に、本講では、古代ギリシヤおよびローマの哲学、キリスト教と中世神学および宗教改革、近世哲学特に英国経験論とカント哲学、現代の実存哲学などにおける倫理学を、思想的に講述する。

〔教科書〕 シュヴェグラール・谷川徹三訳『西洋哲学史』〔上下巻〕（岩波文庫）各¥ 300
並木康三『ヤスパースの哲学』（高文堂出版社） ¥ 1,000

文 学

新 井 章

日本の詩歌の歴史を概括的に把握する。上代、中世、近世、近代の四つの時代に分けて考察しつつ新しい詩歌の方向をさぐる。

〔教科書〕 『日本韻文史』（桜楓社）

文 学

三 宅 武 治

文学とは何かということに関して、文学全般にわたって、広い視野に立った講義をしたいと思います。万葉集、古今集、土佐日記、源氏物語、徒然草、方丈記、平家物語、奥の細道、百人一首等を扱いながら近代文学へ来たいと考えております。近代文学・現代文学では主な小説と主な詩集について講義をしますが、西洋の18世紀以降の詩についても講義して、学生たちに文学のよさと楽しさを理解させたいと思っております。

歴 史 学

茂 澤 方 尚

中国古代の北方異民族をめぐって、中国の資料の性質等の歴史学の基本的一般的な知識を講ずる。

〔参考書〕 その都度挙げることにする。

社 会 分 野

法 学 憲 法

関 口 雅 夫

本講義の対象は、「法学」並びに「憲法」の二部門よりなる。

「法学」の部門においては、法の概念、法と他の社会規範、法の成立と発展、法存在の基礎、法の目的、法源、法の種類、法の効力、法の解釈と適用、法律関係などの法一般理論を論述する。

「憲法」の部門においては、憲法の意義、日本国憲法の成立、基本原理、天皇、国民の権利義務、国会、内閣、司法、財政、地方自治などの、憲法の一般理論を論述する。

本講義は、平易を旨とし、各部門についての基礎知識の修得を目的とする。

〔教科書〕 関口雅夫・西 修編著『法学憲法』（方南書林）

法 学 憲 法

西 修

講義は、法学と憲法とに大別して行なう。法学においては、法の概念、法の目的、法の種類等について概説する。憲法は、条文に従いながらも、重要な問題点をピックアップして、憲法的物の考え方を養うようにする。講義は、できる限り具体的、かつわかり易さを旨としたい。

〔教科書〕 関口雅夫・西 修編『法学憲法』（方円書林）

〔参考書〕 その都度指示する。

社 会 学

岩 上 真 珠

社会学は、いかにして社会行動が営まれるかという基本的な主題を、人間の共同生活の場において、すなわち、人々の結合のあり方を通して追求しようとする学問である。

たとえば、経営という人間営為は、単に企業のみならず、学校、病院、クラブ、サークル、家族といった、さまざまな共同生活の場においてみられる社会行動の複合であり、その態様は一様ではない。

講義では、個々人の間でとり結ばれる、多様で複雑な関係の性質と意味を理解することを通じて、われわれの行動を組み立てているメカニズムについて考察したい。

〔参考書〕 授業中に適宜指摘する

地 理 学

中 島 義 一

地理学諸部門のうち、日本の歴史地理に重点をおいて講述する。下記教科書のほか、地図帳（高校生の時に使ったものでよい）を忘れずに携行すること。

〔教科書〕 矢守一彦『空からみた歴史景観』（大明堂） ￥ 2,000

統 計 学

後 藤 儀 一 郎

統計学は経営学や経済学は言うにおよばず、医学、社会学、自然科学などの各方面で広く用いられている。およそ実証研究しようとするとき、統計学の知識なしにできる場合というものは少ない。

統計学とは何か、統計学的考え方とはどのようなものかについて、学習する。

〔教科書〕 『現代統計解析』（芦書房）

文 化 人 類 学

佐 々 木 宏 幹

文化の概念、文化と社会、文化人類学の領域と方法、簡単な学史について概説し、ついでアジア各地の民族と文化について具体的に考えて行く。社会集団のタイプ、世界観、呪術-宗教的体系、教育制度、文化変化、文化とパーソナリティなどのテーマを関連的に取りあげる。

文化人類学

村 武 慶

私達は、ややもすると、自分達の生活様式、家族・親族の形態、自分達の宗教を最高のものと思いがちであるが、必ずしもそうではないことを、いろいろな民族を比較して学んでいきたい。また、私達日本人の家族・親族、組織、物の考え方などについても、ながめてみたい。

〔参考書〕 蒲生正男・山田隆治・村武精一編『文化人類学を学ぶ』（有斐閣選書）

蒲生正男・祖父江孝男編『文化人類学』（有斐閣双書）

自然分野

自然科学概論

宇和川 正 人

水資源・農林水産資源及び風土環境の諸問題について考察する。あわせて、これら資源の開発・利用について解説する。

自然科学概論

三 野 英 彦

資源問題、エネルギー問題、環境汚染問題、ないしは、わが国科学技術発展の展望など、今日のわれわれの身近な科学的諸問題を取りあげて、講義する。

数 学

福 田 賢 一

現代数学の基礎的部分について、理論と応用の両面からアプローチする。内容は次の通りである。

1. 線型代数（行列・行列式、線型計画法、ゲームの理論、幾何）2. 解析学（微積分、微分方程式）3. 確率統計 4. 以上の応用。

予備知識は高校初年級程度で十分である。なお、特定の教科書は使用しないので、ノートをしっかりとって欲しい。

〔参考書〕 必要があればそのつど指示する。

心 理 学

茅 原 正

「人とは何か」は永遠の問題である。心理学は、人は何をいかに感じ、考え、行なうかということ、すなわち、人間の心とあらゆる行動の原理法則を明らかにすることによって、この問いに答えようとする科学である。人間は本来、自然的存在であると同時に社会的・文化的な存在であり、心理学は、まさに人間活動の全領域を研究の対象とするものである。

本講では、現代心理学の主要な理論を平易に説明し、学生諸君が、複雑なる人間関係にある自己や他人を理解するための指針を得るよう、ともに学んでゆきたい。

〔教科書〕 中村昭之監修『心理学概論』（八千代出版）

心 理 学

松 岡 洋 一

心理学全般にわたって基本的問題を説明し、人間の行動を心理学的立場から考察していく。講義は、できるだけ具体的な例を取り上げながら進めていきたい。

〔教科書〕 中村昭二監修『心理学概説』（八千代出版）

保健体育科目

各実技種目の概要及び指導教員名

球 技 (体育館) 原山良勁・宮沢栄作

基礎技術の習得とに併わせて、ゲームにより、その競技を理解する。(バレーボール、バスケットボール、その他)

服装：一般的運動服装，上履用運動靴

体 操 (玉川校舎) 三 幣 晴 三

マット・鉄棒を中心に行い、初心者を中心とした遊戯的内容から出発し、段階的に技を指導する。

服装：一般的運動服装，靴は体操シューズが望ましい。

相 撲 (玉川校舎) 館 岡 儀 秋

基本技(攻の型・守りの型)の練習を主に、併せて応用技の習得を行い、心・技・体三則の本義を理解させる様指導する。

土俵マットを使用し、服装は海水パンツ等の上に、相撲パンツを使用する。

ウエート・トレーニング (玉川校舎) 宮沢栄作・秋田浩一

個人の体力差に応じてトレーニングプランを作成し、主にバーベルを使用したウエートトレーニングを行なう。このトレーニングの目的は体力、体軀の増強、内臓器官の強化である。

柔 道 (玉川校舎) 光 永 吉 輝

初心者を対象として基本技能(受け身)応用技能(投げの形)(固の形)等の練習を行う。服装は原則として柔道衣。

剣 道 (第二体育館)

上 山 智 身

剣禅一致の精神に基き初心者を対象として下記の順序で実施する。

1. 基本動作
 2. わざ
 3. 懸り稽古, 互格稽古
 4. 試合稽古
- 服装・試験については最初の授業において説明する。

空 手 道 (玉川校舎)

大石武士・高橋俊介

拳禅一致の精神に基き初心者を対象として下記の順序で実施する。

1. 基本技 (空気を相手に, 受, 突, 打, 蹴技の反復練習)
2. 形 (基本技の受, 空, 打, 蹴を合理的に構成したもので空気を相手に行う)
3. 護身術
4. 約束基本組手 (基本技で取得した, 受, 突, 打, 蹴技を実際に相手をおいて行う簡単な約束した組手)

服装は原則として空手道衣着用のこと。

陸 上 競 技 (玉川校舎)

森本 葵・館岡儀秋

駒大式四種競技 (100米, 長距離, 砲丸投, 走高跳) とし得点制とする。

服装はランニングパンツが望ましいが, 普通のトレパンでも可, なお, スパイクの着用は原則として認めない。

ソ フ ト ・ ボ ー ル (玉川校舎)

太 田 誠

基本技能を中心として毎時間ゲームを行う。服装はトレシャツ, トレパン。グラブ, ミットは貸与する。

ハ ン ド ・ ボ ー ル (玉川校舎)

村松 誠・浅野鉦世

パス, シュート等基本技術を中心にゲームを行なう。服装は, トレシャツ, トレパン, 運動靴を用意すること。

サ ッ カ ー (玉川校舎)

秋 田 浩 一

基本技術を中心として練習し, 毎時間ゲームを行う。

服装はショートパンツと厚い靴下を着用すること。

卓 球 (玉川校舎)

長浜友雄・原山 良勁
牧野 茂・嶋田美津子

ゲーム (シングル, ダブルス) 中心の授業を行う。服装は体育時のもので良い。体育館シューズを用意すること。(ラケットは貸与する)

テ ニ ス (玉川校舎)

長浜友雄・牧野 茂
浅野鉦世・嶋田美津子

ゲーム (ダブルス) 中心の授業を行う。服装は、一般運動服装 (白のトレーニングパンツまたは短パンツが望ましい) とするが、靴はテニスシューズを用意すること。

実 技 教 場 案 内

- (1) 体 育 館：本学内、男子更衣は三階東側スタンド。(ステージに向い左側)
女子は三階西側の更衣室。(ステージに向い右側)
TEL (418) 9517
- (2) 第二体育館(武道館)：本学内3号館の裏側相撲道場の隣、一階は柔道場、二階は剣道・空手道場。更衣室は各階に有る。
TEL (418) 9201
- (3) 玉川校舎：世田谷区宇奈根 1-1-1 (学生手帳を参照)
TEL (709) 0717

随 意 科 目

比較思想特講

窪 徳 忠

中国の思想・宗教・文化は、古くから日本に伝来しているけれども、私のみるところによれば、それらの中国思想などは、いわば日本人の思考の枠内にあてはまったものが容れられるか最初は中国とほとんど同様であっても、伝来後時代をへるにつれて日本的に変容して、日本に定着するように思われる。現在の日本で、もっとも多く中国的なものを残しているのは沖縄県である。そこで、主として沖縄県を中心として、日中の思想宗教などを比較して論じてみたい。

〔参考書〕 窪徳忠『中国文化と南島』（第一書房） ¥ 2,500円

〃 『道教史』（山川出版社） ¥ 1,900円

独 語 F

吾 妻 雄次郎

主として読解力を養うため、Seghers, Bredel, Hermlin 等の短篇小説を読み、戦前から戦後にまたがるドイツの現代作家たちの眼が現実をどのように捉えていたかの一端を識る緒にしたい。

〔教科書〕 使用テキストについては開講時に教場において指示する。

独 語 F L L

小 林 佳世子

音としてのドイツ語にふれ、聴きとり能力を養成することに重点をおく。聴きとることができてこそ意志の疎通も可能となるからである。テープを繰り返し聞くことにより、発音および基本的な文型や語彙を身につけ、平易な日常会話ができるようにしたい。口頭練習の他、できるだけ多様なテープを聞き、時にはスライドを見て、生きたドイツ語、ドイツの姿に接して頂きたい。受講者は一年次のドイツ語を既習していることが望ましい。

仏 語 F

加 藤 節 子

フランス19世紀の文学史のやさしいテキストを読むことによって、フランス語の読解力を修得すると共に、この時期に輩出した大作家・詩人たち、例えばユゴー、スタンダール、バルザック、フロベール、ボードレール、モーパッサン、ゾラなどの文学的位置づけをしていく。また折にふれてこれら作家の作品の抜粋を読んで作品の鑑賞をも併せてやってゆきたい。

〔教科書〕 プリント

仏 語 FLL

マドレーヌ・マルタン

テキストを使ってやさしい会話、初めの時間にテキストの説明をし、次の時間にテキストに従って会話をする。

—テキストの復習をよくすること。

—間違いを恐れずに活発な発言をのぞむ。

—松岡先生の会話のクラスを併せて履修することがのぞましい。

〔教科書〕 La France en Direct 1 のプリント

仏 語 FLL

松 岡 宏 一

LL 部に備えてある HACHETTE 社の「LE FRANÇAIS ET LA VIE」を使用して講義をすすめます。耳の訓練に重きをおき、こちらの設問に適宜な反応を示せるよう指導いたします。この教科書にはスライドと音声がついておりますのでこれを十二分に活用、効果をあげたと念じております。

生徒諸士に望みたいことは、LL だけではなく同時に他のフランス語正課にも出席していただきたいことです。

〔教科書〕 「LE FRANÇAIS ET LA VIE」(HACHETTE)

中 国 語 F

堀 田 洋 子

1, 2年で学習した中国語の語法や知識を、再確認しながら、現代作家（老舍、巴金、謝泳心等）の短篇を講読していきます。

〔教科書〕 開講時に指示します。

中 国 語 FLL

果 荃 英

中国語を選択した2年以上の学生を対象とし、やさしい中国語の会話の練習を目的とします。視聴覚教材（フィルムストリップ）を使用して反復練習で日常会話を習得したいと思えます。

〔教科書〕 教場にて視聴覚教材のコピーを配布する。

ス ペ イ ン 語 F

佐 藤 玖 美 子

この授業は、1・2年で習得した知識を更に発展、深化させることを目指しており、特に講読力と作文力の養成に力を入れたいと思う。

テキストは受講者の程度によって、適当なものを選ぶ予定。

スペイン語 FLL

フワン・ナバロ

スペイン語初級を終えたものを対象に、スペイン国営放送より送られた教材用ビデオを使用し、画面のドラマを見ながら楽しく授業を進めたいと思っている。

ロシア語 F

タチャーナ・バリソヴァ・野村

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標とした。

〔教科書〕 教場にてコピーを配布する。(無料)

ロシア語 FLL

タチャーナ・バリソヴァ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し、簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔テキスト〕 『ロシア語を話しましょう』を使用する。

日本語 F (留学生対象)

杉山 秀子

本講座は昭和57年度に初めて設置された日本語の随意科目である。対象者は駒沢大学に在籍している1年から4年までの留学生とする。とりわけ日常生活の意志伝達にはさほど苦勞しないが、若干こみいった内容の説明や、正しい表記、用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるので、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらいその後細目について詳しく説明する。授業では最新のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

基礎教育科目

経済学概説

滝田 公一

経済学の入門的講義を行います。講義内容は以下のとおりです。

1. 家計の行動
2. 企業の行動
3. 需要と供給
4. 市場の安定性
5. 厚生経済理論
6. 国民所得の概念
7. 均衡国民所得の決定
8. 消費関数
9. 投資関数
10. 貨幣の市場
11. IS・LM 分析
12. 財政政策
13. 金融政策
14. 経済成長
15. 国際経済理論
16. インフレーションと失業
17. イデオロギーの花束

〔教科書〕 未定

専門教育科目

簿記学

近藤 禎夫

社会科学としての簿記・会計学は、計算技術的側面の理解のみにおわってはいらない。それが現実の社会・経済において、どのような役割を果たしているのかという点もあわせて説明する必要がある。このような視点から、一年間みっちりと簿記論を講じてみたい。

〔教科書〕 敷田礼二編著『資本主義と簿記』〔1979年〕（ミネルヴァ書房）

山口 孝『企業分析—経済民主主義への基礎』〔1977年〕（新日本出版社）

簿記学

中平 榮一

複式簿記の原理について徹底的に講述する予定である。なお、演習問題も十分に準備する。

簿記学

渡辺 恵一郎

簿記の基礎知識をしっかり理解してもらいます。「数学嫌い」の人でも数字に強くなるよう、一步一步踏まえていくことが大切です。簿記が対象とするのは、日常の経済活動であり、具体的内容です。また簿記はとくに企業の姿を計数的に表現しますから、2年次以降の他の専門教育科目とも密接な関連があり、その基礎的素養が充実してくれば、次第に「経営を見る」心が得られるでしょう。

毎時間の出席率、宿題提出が重視されます。

〔教科書〕 太田哲三・新井益太郎共著『新講簿記原理』（中央経済社）

簿記学

木下 照嶽

この講義では、企業経営にとって不可欠な簿記の基本原則を、可能な限り平易に理解することに重点をおいて授業を行なう。毎時間小テストあるいは記帳練習（約20分間）を行ない、講義の理解度を確認していきたいと考えている。全出席を念頭に講義に臨んでほしい。

〔教科書〕 東京簿記教育協会編『簿記テキスト・簿記問題集』

簿記学

花堂靖仁

前期では、企業経営事象を計数により統一的に表現する技法である簿記について、複式簿記を中心におきながら、その基礎的技術の習得に重点をおく。後期では、前期に習得してもらった簿記技術は、いったい誰れが、いかなる目的を達成するために、考案・改良してきたものかについて、史実に即しあるいは具体的な経営事例に即しながら検討してもらう。同時に後期においては、「技術」の本質について、その一端に少しでも触れてもらうことが課題となろう。

〔教科書〕 新井清光編著『簿記検定3級商業簿記』（税務経理協会）

〔参考書〕 補助教材および参考書は授業時に指示する

簿記学（再クラス）

片桐伸夫

簿記とは「帳簿記入」の略語であり、読んで理解する学科ではなく、文字どおり、記帳訓練によってその技術を体得する学科です。したがって、受講生は常にレポート提出が要求されることを前提として受講下さい。

〔教科書〕 沼田嘉穂『簿記教科書』（同文館） ¥ 2,000

簿記学（再クラス）

木下照嶽

この講義では、企業経営にとって不可欠な簿記の基本原理を、可能な限り平易に理解することに重点をおいて授業を行なう。毎時間小テスト（約20分間）を行ない、講義の理解度を確認していきたいと考えている。もちろん、簿記をはじめから勉強し直す気持で、全出席を念頭に講義に臨んでほしい。

〔教科書〕 東京簿記教育協会編『簿記テキスト・簿記問題集』

プロゼミ I（会計コース）

長松秀志

前期は社会科学の基礎について勉強し、後期は会計に関する基礎について学生と一緒に勉強して行きたい。プロゼミは通常の講義とは趣を異にしているので、学生諸君の自主的勉強を伸ばすように指導する。

〔教科書〕 学年始めに指示する。

〔参考書〕 学年始めに指示する。

プロゼミ I（経済コース）

永田智則

このプロゼミでは、日本経済が現在直面している諸問題に焦点をあて、将来の専門的研究の足掛りとなるように心掛ける。その過程で経済問題を考究するときに必要となる基礎的な分析道具の習得に努めたい。

〔教科書〕 下村 治『日本経済の節度』〔昭和56年〕（東洋経済新報社） 1,200円

〔参考書〕 適宜指示する。

プロゼミ I (経営コース)

石名坂 邦 昭

経営学部の第1学年に開設されている科目であることから、経営学の基本を知り、経営学のなんたるかを理解できるように基礎を中心として講義を進めて行く。

〔教科書〕 開講時に指示する。

プロゼミ I (経営コース)

宮 城 徹

このプロゼミでは、現代経営学の底流のまさに基底を形成している現代科学論に言及するが、そのさいなかんずく、現代経営学の展開にすこぶる多大な影響を及ぼしている、K. ポパーの科学哲学をとりあげるけれども、とくに、「広範で多岐にわたるポパーの思想の精髓を的確にとらえ」（監修者あとがき）ている、ブライアン・マギーの近著を素材として講義を進める予定である。また適宜必要なレファランズについても指摘する。

〔教科書〕 B. Magee, *Karl Popper*, New York: The Viking Press, 1973 森 博監修『カール・ポパー』富士選書, 昭和55年。

プロゼミ I (会計コース)

近 藤 禎 夫

経営・会計上の理論的ならびに現実的諸問題をミーティングの都度とりあげ、これらの学習を通じて社会科学とは何であるのか、またそれはどのように学ぶべきかという基本的命題にアプローチする。

〔教科書〕 開講時に指示する。

経 営 学

鈴 木 幸 毅

以下の順に講義する。

1. 経営学と現代社会
2. 経営の機能と現代の企業経営
3. 経営理論の発展
4. 企業形態
5. 企業維持の原理と条件
6. 規模・業種の経営理論と経営体制
7. 企業の国際化と日本的経営
8. 企業社会における管理と運動

〔教科書〕 一寸木俊昭責任編集『現代経営学入門』〔現代経営学①〕（有斐閣）

会 計 学

久 松 治 夫

現代の企業会計は、大別した場合、制度会計と情報会計との対比が特徴的である。前者の対象となるものは、企業の財政状態と経営成績に関する制度化された会計であり、後者のなかには、例えば資金繰表のような制度化されていないものが含まれることになる。本年度の会計学は、これら両面について総合的に講述する。

〔教科書〕 山本 繁『現代会計』（同文館）

〔参考書〕 開講時、指示する。

経 営 史

前 田 和 利

経営史の課題と方法、企業経営の生成・確立・発展、日本的経営といった内容を中心として講義する。とくに経営形態、企業形態、組織と管理、企業経営者のタイプなどに焦点をあて、比較経営史的視点から企業経営の発達を検討する。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

経 済 学 原 理

中 村 雄 次 郎

現在、わたくしたちが生活している社会は、自由主義時代の社会とは著しくその趣をこととしています。しかし、両者ともに資本主義社会であることに変わりありません。『経済学原理』では、このような資本主義社会の機構と、その運動法則とを下記の教科書によって講義します。

〔教科書〕 岡崎次郎『経済原論』（法政大学出版局）

〔参考書〕 講義の際、紹介します。

経 営 管 理 論

鈴 木 幸 毅

経営管理論は資本制企業管理の理論としての性格をもつ。それは企業とくに巨大化した独占企業を組織体として機能せしめ、独占利潤を確実に実現、保証して成長を可能ならしめるための資本制企業の計画と制御、組織管理、環境管理などの理論であるといえる。講義ではこれらに関する諸説を批判的に吟味するとともに、経営管理の体系的説明を試みるであろう。

1. 古典的管理論
2. 近代的管理論
3. システム論的管理論

〔教科書〕 鈴木幸毅『組織と管理の批判的研究』（中央経済社）（前期）

原 価 計 算

近 藤 禎 夫

1982年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

- ① 資本制的原価計算の役割とその考え方
- ② 原価計算の概要
- ③ 原価の費目別計算
- ④ 原価の部門別計算
- ⑤ 個別原価算の方法
- ⑥ 総合原価計算の方法
- ⑦ 標準原価計算
- ⑧ 経営計画と原価計算
- ⑨ 社会主義の原価計算方法
- ⑩ 原価計算の歴史

〔教科書〕 大即英夫他著『原価計算』〔1972年〕（有斐閣） ¥ 1,300

〔参考書〕 敷田礼二・近藤禎夫共著『原価公開—経済民主主義への布石』〔1976年〕（新日本出版社） ¥ 430

企 業 形 態 論

渡 辺 行 男

講義すべき主要な問題は以下のとおり。

- ① 企業形態の史的分析（とくに、2と3）
 1. 重商主義段階
 2. 自由主義段階
 3. 帝国主義段階
- ② 現代資本主義における企業形態
 1. 現代株式会社（持株会社・コンツェルンなど）
 2. 現代公企業（公社・国家持株会社・国家コンツェルン）
 3. 現代協同組合（生協・中小企業協同組合）

〔教科書〕 開講時に指示する。

統 計 原 論

後 藤 儀 一 郎

統計学は経営学や経済学は言うにおよばず、医学、社会学、自然科学などの各方面で広く用いられている。およそ実証研究しようとするとき、統計学の知識なしにできる場合と
いうものは少ない。

統計学とは何か、統計学的考え方とはどのようなものかについて、学習する。

〔教科書〕 『現代統計解析』（芦書房）

近世農村について、本百姓を中心にして村落構造をめぐる諸問題を取扱いたいと思う。

〔教科書〕『近世日本経済史論』（八千代出版） ¥ 3,200

民法 I

柿本啓

民法は市民社会の私的生活関係を規律するもので、われわれの社会生活における法律制度で普遍的な生活秩序の法であり、一般的基礎法である。本講義は私法一般の特に、主として財産関係の通則と解釈基準の総則と財産法の主要部分の物権法の領域を対象とする。しかし現今の社会生活関係の変転の激化にともない対象領域も拡大しているが、この理論を簡明に叙述して私法学全般の勉学の指標を把握することを目的とする。

〔教科書〕 柿本 啓『民法総論および物権法』（鳳舎）

プロゼミ II (経営コース)

北村健之助

経営の生産、労務、販売、財務、管理等の諸活動に関する基本的理解を深めるよう努力したい。

〔教科書〕『図説 経営学』（学文社）

プロゼミ II (会計コース)

中平栄一

簿記会計の基礎的問題をとりあげてプロゼミをすすめる予定である。

プロゼミ II (会計コース)

久松治夫

プロゼミ I の講義内容は、原価計算のうち基本的な個別原価計算に関するものであったが、プロゼミ II では、総合原価計算の領域を取扱い、さらに企業の経営管理のため利用される標準原価計算、直接原価計算などについても講義する予定である。

〔教科書〕 久松治夫『原価計算論』（成文堂）

〔参考書〕 開講時、指示する。

プロゼミ II (経営コース)

前田和利

史的観点から企業経営に関する理解力を養うべく、テキスト（未定）を読みながら討論していく。そこでは経済過程、組織、文化構造などといった側面から総合的に企業経営を把握することになる。

プロゼミⅡ（経済コース）

滝田 公一

本書は価格理論（個々の経済主体の行動や市場についての分析を目的とする理論）とその応用について述べたものです。特に、応用面を重視しており、その理由は、「応用を欠いた理論の提唱は、退屈であるばかりでなく、基本的には誤解を招くものである。理論はその応用力によってのみ正当化される。」ということによるのです。そこで著者の主張にどれほど説得力があるか調べてみようと思うのです。なお、予備知識はほとんど必要としません。

〔教科書〕 J. パシュライファー、志田 明訳『価格理論とその応用（上・下）』（マグローヒル好學社）

外書講読（英）

小野寺 孝一

マネジメントの幾つかの基本的文献よりの抜粋のコピーを読むことにする。

〔教科書〕 講義中にコピーを与える。

外書講読（英）

高田 光明

英語を日本語に機械的に置換えるだけでは英文を理解したことにはなりません。この授業では、英文の専門書の内容を正確に把握できるようにする訓練を行います。教科書は、企業財務関係の入手しやすいリプリント版を使用する予定です。

外書講読（英）

羽鳥 茂

本年度は、インフレーションについての諸理論を検討する予定である。基本的な文献をいくつか読むつもりであるが、テキストとしては下記の Laidler and Parkin の論文を使うことにする。これは、図書館にあるので、外書講読の参加者は開講時までに各人がコピーをしておくことを要する。

〔教科書〕 Laidler, D.E.W. and J.M. Parkin, "Inflation-A Survey", *Economic Journal*, 85, 1975, pp. 741~809

〔参考書〕 新飯田宏『インフレーション』（日経文庫）

外書講読（独）

百 濟 勇

最近とくに、アメリカ、ヨーロッパ諸国から日本企業見学のため多くの代表団が訪日している。その関心の中心は「日本の経営」である。諸君も卒業後想像以上に外国の企業とのかかわりで働くことになろう。その場合、外国の研究者による終身雇用と年功序列を特色とする日本の経営研究を知ることは、諸外国の経営比較からも、大変有意義である。これと並行して、西独の新聞、雑誌など、その都度参考としてとりあげる。

- 〔教科書〕 F. Fürstenberg : “Japanische Unternehmensführung——Management-Strukturen in der Japnischen Industrie——” Verlag Moderne Industrie (プリントで配布)

外 書 講 読 (仏)

中 村 雄 次 郎

現代フランスの社会や経済の動向を知り、あわせて、フランス語を学ぶため、週刊誌《L'EXPRESS》に掲載された記事や論文を読みたいと思います。講読にさいし、なるべく新しい素材をプリントして配布します。

外 書 講 読 (中)

陳 繼 昌

最初は、太平天国の経済制度、特に資政新編を中心に講読して、近代中国経済の概要を理解させてから、更に《管子》“経済篇”の短文一國准、事間、間など数篇を現代口語に訳して併読させて、中国語学の力を向上する考えである。

〔教科書〕 現代中国国民経済史と、管子の両書から数章を選んで講義する。

〔参考書〕 陳繼昌共訳『現代中国経済史』(角川書店) ¥ 3,500, (日本文)

外 書 講 読 (ス)

細 川 幸 夫

スペイン語を選択した者で、二年間の教養課程を修了した者を対象に、既修の文法知識を再確認しつつ、エッセイや各種の手紙文・挨拶・テーブルスピーチ等実用面のスペイン語を先ず習得した上で、専門書を読むための語学基礎を充実させたいと考えている。

〔教科書〕 未定(開講時に指示する)

経 営 学 史

北 村 健 之 助

ドイツ経営経済学(前史、成立、1・2・3次方法論争、現代の経営経済学)およびアメリカ経営学(成行管理、科学的管理法、管理過程論、行動科学的展開)等々の発展過程を現代経営学を軸に探り、経営学の基本問題に迫ることができればと思います。テキスト、参考書は一応下記に示しましたが、必要があればその都度他の参考書をもお勧めする積りです。

〔教科書〕 北村健之助『現代ドイツ経営経済学の方法』——その諸問題(白桃書房)

〔参考書〕 藤芳誠一編著「図説 経営学」(学文社)

ア メ リ カ 経 営 学

宮 城 徹

経営学がすこぶる間口の広い学問であることは否定しえない。こうして、アメリカ経営学における教科編成という観点からみれば、そこには多様な領域がカバーされるのでなく

てはならない。この講座では、こうしたいわば多面的特徴をもつ、アメリカ経営学のほぼ全体的な姿を明らかにする、という趣旨で、最も先端的展開としてのコンティンゼンシー理論に重きを置きつつ、かんたんに表現すれば、少なくとも、以下の項目を順次とりあげ講義を進めるつもりである。

1 制度・新制度学派 2 伝統的管理論 3 意思決定理論 4 組織の性格 5 組織構造 6 組織過程 7 組織と社会、その他。

〔参考書〕講義の進展にともない、適宜指摘する

経営労務論

掛谷 力太郎

講義内容は概ね次の項目のものとする

1. 経営労務の概念
2. 経営労務の主体、容体、対象
3. 経営労務の問題領域
4. 経営労務方法における基本的思考
5. 経営労務と労務管理の具体的展開
6. 経営参加の問題点

〔教科書〕掛谷力太郎『経営労務論』（白桃書房）

経営財務論

高田 光明

企業における財務の問題は、労務とともに、企業経営上考慮すべき重要な事柄である。企業財務を研究対象とする経営財務論は、所要資本の調達問題から、調達資本の効率的運用に関する研究へと重点の置所が移ってきている。この授業では、経営財務論の以上のような現状を考慮しつつ基礎的な事柄を中心に講義するつもりである。基本的参考書等は授業の始めに指示します。

管理会計論

長松 秀志

現代管理会計の論拠、基本的性格、対象、方法、発展過程、目的、計算構造および現実的役割等を体系的に講義し、現代管理会計の中心課題である意思決定会計の理解を深めるように講義する。

〔使用教科書〕長松秀志『現代管理会計』（税務経理協会）

〔参考書〕学年始めに指示する

経営組織論

平山 健二

今日、これまでの機能的で分権化された組織では十分満足とはいええず、チームやシステム構造が現れている。また、普遍的な設計が存在するのではなく、各企業の使命や戦略にふさわしい重要な活動をめぐって、それぞれ設計されねばならないことを理解したい。

経営技術論

小野寺 孝 一

経営技術は生産性の向上にどうしても必要なものであろう。しかしそれは反面、労働者を搾取するものであるという考えもある。また一般に生産技術は生産に必要なものであるが、経営技術は単に金儲けの技術にすぎないという考えもある。

果してそうなのか。こうした議論にこたえるのが『経営技術論』である。

すなわち技術と経営技術のメカニズムとその資本主義的本質を論ずるのであるが、この高級な理論を理解できるように、わかりやすく説明してゆくことにしたい。

〔教科書〕 『経営技術論』（白桃書房） ¥ 2,000

商業経営論

武田 康

戦略経営理論としての現代マーケティング・システム理論を流通問題との関連において講義する。

〔教科書〕 武田 康『整合戦略の経営』（創成社）

保険経営論

石名坂 邦 昭

不確実性の時代を迎え企業においても家計においても危険に対応する手段としての保険は増々その重要性を増すにいたっている。保険はわれわれの経済生活になくはならない経済施設であり、その歴史は古く、企業活動や家計生活に深いかかわりをもっているにもかかわらずその認識は低いといわざるを得ない。本講義においては、前期に保険の本質、保険の意義、保険の歴史を知り、さらに個々の生命保険、損害保険、社会保険につきわしく、後期には特に企業活動と保険とのかかわりに焦点をしばり近年アメリカにおいてさかんとなってきたリスク・マネジメントの立場から講義を進めて行くこととする。

〔教科書〕 『リスク・マネジメント』（白桃書房）

〔参考書〕 『損失予防と経営者の役割』（税務経理協会）

公益企業論

石 井 彰 次 郎

1. 公益企業の概念の成立
2. 公益企業の先駆形態
3. 競争と独占
4. 政府規制
5. 公共企業体

以上の諸テーマの下、歴史的にまた日本の現実との関連において論じる。

〔教科書〕 『企業規制論』（白桃書房）

日本経済論

羽鳥 茂

1970年代は、日本経済にとっても、また世界経済にとっても、まさに激動の10年間であった。ニクソン・ショックに始まり、第1次石油危機、スタグフレーション、変動相場制への移行、第2次石油危機、等々、重大な経済的出来事が多発したのである。それらは、直接、間接に現在の日本経済の構造変化を規定している。

本年は、このような構造変化の中での安定化政策としての財政金融政策、財政再建問題等について講義する予定である。受講者については、初等的なレベルであれ、マクロ経済学の知識があることを希望する。

〔教科書〕 吉田和男『日本の財政金融政策』（東洋経済新報社、1980年）

〔参考書〕 (1) 藤田 晴『財政』（日経文庫）

(2) 鈴木淑夫『金融』（日経文庫）

(3) 中谷 巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）

経済政策

西山 司

本年度の経済政策の講義は、経済政策の理論および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、現在、各国で実施されている経済政策についても論述する予定である。

特に「価値判断」論争をめぐる諸問題点や、従来の経済政策論の主要な諸学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努める。

〔教科書〕 ノートを中心に講義する。

〔参考書〕 清水・松原編『経済政策論を学ぶ』（有斐閣） ¥ 1,300

金融論

石野 典

経済は、モノの流れとカネの流れとに分けられるが、金融現象はこの2つの流れを支配・調整する。経済の根元ともいえよう。そうした金融の理論と制度にも注意し、また、外国との比較において考える。これから低成長の時代には、インフレ下で財産の運用にも必要なことから興味が持てよう。目次は、(1) 貨幣経済と金融システム、(2) 資金循環分析、(3) 通貨構造、(4) 家計、企業、政府の金融行動、(5) 金融市場と金融機関、(6) 金利、(7) 金融の対外的側面、(8) 金融政策。

〔教科書〕 石野 典・中山靖夫編著『貨幣経済の分析』（学文社）

〔参考書〕 原 司郎『テキストブック金融論』（有斐閣）

貿易政策

永田 智 則

第2次大戦後のガット—IMF体制のもとで世界貿易の自由化と拡大はいちじるしく進展してきた。しかし、その過程で生じた産業調整問題、さらには資源制約問題等は相乗的

に作用して、多くの国々を保護貿易主義の方向にかりたてている。このようなときに関税等で代表される貿易政策の効果をあらためて検討してみることは意味あることであろう。

講義ではこれらの点を考慮して、まず自由貿易主義と保護貿易主義の理論的根拠を明らかにし、ついで個々の貿易政策手段の効果について検討を加える。

参考書等については講義の中で適宜指示する。

商 法 I 関 口 雅 夫

商法 I は、商法学のうち、「商法総則」および「会社法」を、主要な対象としている。本講座は、平易を旨とし、商法 I を論理体系的にかつ判例を通じて実践的に理解し、その基礎的知識を修得することを目的としている。

〔教科書〕 野津 務『商法講義〔総則〕』（中大生協出版局）

野津 務『商法講義〔会社法〕』（中大生協出版局）

簿記理論特別講義 久 松 治 夫

簿記理論の中核をなすものは勘定理論あるいは勘定学説であり、これらについてその歴史的発展過程を中心に講義を進める。したがって、基本的には人的勘定学説から物的勘定学説への流れの解明が中心となる。ほかに勘定科目についても論及する予定である。

〔教科書〕 久松治夫『現代簿記論』（創成社）

〔参考書〕 開講時、指示する。

簿 記 原 理 渡 辺 恵 一 郎

1年次の「簿記学」を基礎にその応用能力を養い、簿記、会計に関する理論を、問題解答・解説をしながら展開する。各種の簿記検定試験や国家試験（公認会計士、税理士など）に挑戦する意欲の旺盛な人々が受講するよう希望。なお、指名、割当制により問題解答をしてもらう。宿題3回提出させる。

〔教科書〕 横浜市立大学会計学研究室編『大学簿記演習』（同文館）

〔参考書〕 嵐村剛雄『対照・解説体系会計諸則集』（白桃書房）

経 営 統 計 後 藤 儀 一 郎

統計学、特に推測統計学の知識は経営学あるいは経済学の分野においても広く用いられている。統計学はもはや資料の収集とそれを表や図で表わすだけのものではない。不確実性と危険を含むあらゆる状況を論理的かつ組織的な方法で考察する。推測統計学の理論を学びながら、それらが実際においてどのように応用（例えば統計の品質管理、実験計画、線形計画等）されるかを、学習する。

〔教科書〕 『現代統計解析』（芦書房）

経営分析論

片桐伸夫

経営分析の伝統的、基本的方法から現在着目されている方法までを大略、以下の要領で講義します。

- (1) 収益性分析
- (2) 流動性分析
- (3) 生産性分析
- (4) 成長性分析
- (5) 社会性分析

〔教科書〕 開講の時指示します

経営情報論

加藤武信

情報革命の真只中にある今日、「情報」、「システム」あるいは「コンピュータ」は、個人レベルであると社会レベルであるとを問わず人間の行動や生活に大なる影響を与えつつある。

本講座では「経営管理における MIS (経営情報システム)」について、理論的および技術的側面から詳細に考察する。すなわち①MIS の基礎②MIS の理論と技法③MIS の役割の3つの部門において、それぞれの内容、特徴および問題点を明らかにする。

〔教科書〕 長松秀志『経営情報システム』(白桃書房)

〔参考書〕 開講の際に指示する。

民法Ⅱ

河野弘矩

本講義は、民法のうちの債権法を対象とする。

およそ人は、一日たりとも物資を利用しないではいられないが、その物資に対する直接の支配権が物権であり、債権はその物資獲得の手段たる権利である。われわれの日常生活において、すべての財貨が商品として取り扱われ、この商品たる財貨の交換も、すべて契約という法的形式によらざるをえない。したがって、現代においては、債権とその発生原因としての契約とが、私法制度のなかで、きわめて重要な位置をしめることになる。

そこで、本講義では、契約の理論を中心に、主要な原理・原則を理解できるように講義を進める予定である。

〔教科書〕 我妻『債権法』(弘文堂)

経営科学

藤沢袈裟利

今年度はオペレーションズ・マネジメントを中心にして、経営における基本問題の考察を試みる予定である。内容は、製品計画、設備計画、資金管理、原価管理、需要予測、在庫管理、資材管理、日程管理、品質管理の各分野の導入的諸問題を平易に説明する。

講義はノートを中心とする。連続して受講可能な学生の受講を希望する。経営科学に対する経営問題別接近法を今年度にとってみたい。

〔教科書〕 使用せず。資料として、必要あれば印刷物を配布する。

〔参考書〕 藤沢・松行著『経営数学』（丸善）、その他講義時にあげる。

財 政 学

山 口 忠 夫

財政と国民経済との関係に注目しながら、予算、経費、収入（主として租税）および公債等ならびに財政投融资に関する財政、財政政策上の重要問題を取上げて説明する予定である。

国 際 経 済 論

池 田 健

拙著「国際金融論」により国際経済の金融的側面を理論的に教授し、かつ時事的問題をも解説する。

〔教科書〕 池田 健『国際金融論』（佑学社）

貿 易 経 済 論

武 田 康

外国貿易が直接投資による多国籍化経営に発展しつつあるという現実に対応して次の内容により講義する。

1. 多国籍企業概念の類型と国際経営の範囲。
2. 外国貿易および直接投資の理論
3. 外国貿易と多国籍企業の史的発展
4. 日本の国際経営の史的特質と多国籍化をめぐる諸問題。

講義はノートによる。参考書は開講とともに適宜指示する。

会 計 監 査

中 平 榮 一

独立監査人による財務諸表の監査を主題とし、監査役監査及び内部監査にも論及する。

税 務 会 計

鈴 木 明 男

税務会計の基本的課題は課税所得および租税負担額の算定である。ところで課税所得は租税特有の理念に左右され、本来の経済計算である会計上の利益や商法上の利益とは内容が異なっている。講義では、租税特有の理念とそれに導かれる課税所得の計算構造、そして課税所得と企業会計および商法会計との関連と違いを研究する。次いで、租税は個人と法人の双方に係ることから、個人の所得への課税を取扱う所得税と、法人の所得を取扱う法人税の具体的内容に立入る。

〔教科書〕 赤間研一・鈴木明男共著『基本税務会計』（税務経理協会）

商 法 Ⅱ

荒 木 正 孝

企業の成長や経済活動の活発化に伴って手形・小切手の利用が増大し、現在、企業間取引においては手形が商業貨幣として、また小切手は現金に代わる決済手段として重要な役割を果たしている。本講義では、手形法・小切手法に関する基礎知識の修得を目的とするが、その十分な理解のためには民法（財産法）の知識が不可欠であるので、受講者は、民法Ⅰおよび民法Ⅱを履修した者であることが望ましい。

〔教科書〕 大野実雄『商法（手形法・商行為法）』（成文堂）

労 働 法

掛 谷 力 太 郎

本年度は労働法と労働管理の法理について、概ね次の項目の講義をおこなう。

1. 労働法生成発展の歴史
2. 労働法学の発展過程
3. 現行労働法の問題点
4. 近代的労働法と労働管理の法理
5. 公共部門労働者の労働基本権
6. 社会制度と労働法

資本主義社会と社会主義社会の労働法比較

〔教科書〕 掛谷力太郎『労働法理論と労働管理の法理』（高文堂出版社）

証 券 市 場 論

柿 崎 暎 次

証券市場は金融市場とともに、経済機構の動脈にたとえられている。本講義では証券市場の機構・現象を分析し、体系的に講述する。概ね以下の順序による。

1. 証券市場の歴史
2. 各種証券の内容
3. 発行市場の構造
4. 流通市場の構造
5. 証券取引所一機能、経営形態、取引主体、上場制度、元買取引の方法一

〔教科書〕 上林正矩『新版証券市場論』

〔参考書〕 『図説日本の証券市場』

日 本 経 営 史

山 田 勝

我国の企業経営の発展を、商社を中心に講義する。教科書は使用しないが、参考書は適宜紹介していく。

講義は以下の三点を中心的課題として行います。

1. 銀行経営論を学ぶ前提としての近代的銀行の成立と歴史についての基礎理論を深めること。
2. 銀行経営論の基礎となる銀行の主要業務についての説明。
3. 戦前、戦後における銀行経営の実際についての説明。

〔教科書〕 三宅義夫『金融論』〔新版〕（有斐閣双書） ¥ 1,500

演 習 I

滝田公一

本書は経済学の観点から、学歴社会、労働市場における男女間差別、年金制度、医療保険制度、高等教育等における、日本に特有な問題点を分析したものです。この演習では本書を材料として、上述の問題点について学生諸君と一緒に考えてみようと思っています。なお、予備知識としては、経済学の初歩の知識があった方が望ましいのですが、必ずなければならないというものではありません。

〔教科書〕 八代尚宏『現代日本の病理解明』（東洋経済新報社）

教職および資格講座

教 職 課 程

学校図書館司書教諭講座

博物館学講座

社会福祉主事講座

社会教育主事講座

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講出来る課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座受講の手びき」を参照）

課 程・講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全学部
学校図書館司書教諭講座	全学部
博 物 館 学 講 座	文学部・仏教学部
社 会 福 祉 主 事 講 座	文学部・仏教学部
社 会 教 育 主 事 講 座	文学部・経済学部・法学部・経営学部

西洋文化史Ⅰ(渡辺 茂)……………	15
西洋文化史Ⅱ(阿部 重雄)……………	15
仏教美術(金子 良運)……………	15
現代美術(中山 典夫)……………	15
禅美術(竹内 尚次)……………	16
美術史概説(杉山 二郎)……………	16
西域美術史(杉山 二郎)……………	16
考古学概説Ⅰ(日本)(倉田 芳郎)……………	16
考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次)……………	17
考古学特講(後藤 和民)……………	17
考古学特講(坂詰 秀一)……………	17
日本民俗学(山折 哲雄)……………	17
仏教民俗学(和田 謙寿)……………	18
宗教人類学(佐々木宏幹)……………	18
社会福祉概論(原田 信一)……………	18
障害福祉論(原田 信一)……………	18
社会福祉実習(原田 信一)……………	19
地域福祉論(岡田 真)……………	19
ケース・ワーク論(高橋 重宏)……………	19

グループ・ワーク(松本 栄二)……………	19
社会調査(川本 勝)……………	20
児童福祉論(原田 信一)……………	20
老人福祉論(浅野 仁)……………	20
社会福祉事業史(小沼 正)……………	21
社会福祉法制(高橋 政美)……………	21
公的扶助論(林 千代)……………	21
社会保障論(小沼 正)……………	21
精神医学(植村 肇)……………	22
社会教育概論(長浜 功)……………	22
社会教育方法論(上岡 安彦)……………	22
社会教育行政財政(長浜 功)……………	22
教育社会学(村山 輝吉)……………	22
社会心理学(水原 泰介)……………	23
社会教育施設(村山 輝吉)……………	23
児童教化(北田 耕也)……………	23
青少年問題研究(和田 謙寿)……………	23
青少年指導演習(和田 謙寿)……………	24
社会教育演習(上岡 安彦)……………	24

教育原理

汐見稔幸

教育とはなにかということについて人間学的、歴史学的等多面的な方法によってアプローチし、教育の意義、目的、可能性などを考え合う。今日教育問題もとりあげ、その性格の本質についても考える。

教育原理

上岡安彦

テキストを中心として教育の固有性の論究を試みる。

〔教科書〕 デューイ・宮原訳『学校と社会』（岩波文庫）

教育原理

村山輝吉

1. 教育の意義
2. 教育の目的
3. 教育のしくみ
(1)家庭教育 (2)学校制度 (3)社会教育 (4)行財政
4. 学校教育について
(1)学校の特質 (2)教育課程 (3)教授=学習過程 (4)生活指導と学級経営
5. 教師について

教育原理

坂本信昭

1. 教育とは何か
2. 教育の目的
3. 教育の内容
4. 教育の方法
(1) 教授学習の方法
(2) 生活指導
5. 教育の経営
6. 教育の制度
7. 教師

おおむね上記についてテキストにそって論究してゆく。

〔教科書〕 教師養成研究会編『教育原理』〔4訂修正版〕（学芸図書） ¥ 900

〔参考書〕 デューイ著・宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫）など、授業で適宜紹介する。

青年心理学

大 浜 幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について検討する。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な考え方と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

青年心理学

渡 辺 三和子

前期では人格発達の諸問題を取りあげ、人間の発達における青年期の占める位置を考える。後期では、青年期独自の問題を検討しつつ、自己を深め、また中高校生の心理を理解することをめざす。

〔参考書〕 津留宏『青年心理学』（有斐閣双書）

青年心理学

武 井 澄 江

青年期を乳幼児、児童期から成人への発達系列の中に位置づける。その上で、人間に特有だといわれるこの時期の発達上の特徴をとらえていく。特に、人格、人間関係、価値観など社会的生活の側面が中心になるだろう。なお、講義の中で、人格検査等の実習も行う予定である。

教育心理学

大 浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の各分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場に即応した様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

教育心理学

渡 辺 三和子

前期は発達のしくみ、発達と学習を中心に、後期は教校における教授学習の過程について考察する。

〔参考書〕 永野重史、依田明編『教育心理学入門』（新曜社）

教育心理学

中 村 均

大人になってしまった者（たとえば、この講義への出席者）にとって、子どもの理解は大変困難である。そこで、子どもがどうしてそのような行動をとるのか、について、心理学の考え方で、説明を試みる。と同時に、望ましいと思われる行動をとらせるためにはどうしたら良いのか、について考えてみる。（発達、および学習）

また、それぞれの子どもに応じた教育的働きかけについて（個人差）、更に、教育的働き

かけがらなくいっているのかどうかをチェックする方法（評価）について触れる。

〔教科書〕 永野重史・依田明共編『教育心理学入門』（新曜社）

〔参考書〕 波多野誼余夫・久原恵子『入門教育心理学』（有斐閣）

教育心理学

武井澄江

「発達」「学習」「パーソナリティと適応」「評価」などに関する心理学的知見を概説する。この講義を通して、生徒の学習指導・生活指導の中で必ずつきあたる、専門教科の知識や一般的常識だけでは解決しえない、様々な問題に対処する基礎を身につけてほしい。

道徳教育の研究

松田文雄

道徳の定義、道徳教育の歴史、その位置づけ、方法論などを体系的にまとめてみたい。

〔教科書〕 『道徳教育の研究』〔改訂版〕（学芸図書） ¥650

教育実習

汐見稔幸

実習前は実習の意義、心がまえ、授業の本質などについて論じ、実習後は感想等をもとに、よりつつこんで教えることの意義、可能性、教師のあり方などについて考えあう。

教育実習

上岡安彦

教育実習事前指導と事後指導との二段階において行なう。

教育実習

村山輝吉

教育実習を効果的におこない、教育について望ましい理解と関心を得られるよう、年間を通じて次の事項をあつかう。

1. 教育実習の意義と心得
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

現場における実習の体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接相談、模擬実習等、適宜の方法と形態で構成される。

教育実習

坂本信昭

駒沢大学に於ける教育実習は通年履修となっており、おおむね下記のとおりに進める。

○教育実習前の段階では、①教育実習の意義及び目標・内容（領域）に関する講義とそれに並行して、②実習校における教育実習の事例を示し、③教育実習の心得などに関する事前指導を行なう。

○教育実習後には、①各自の実習報告の後、②グループ編成による授業（ディスカッション）を行ない、③問題提起に対するレポート作成（提出）を通して、教育実習の成果としての教育の正しい理解と教職への関心を養う、いわゆる事後指導を行なう。

〔参考書〕大村はま『教えるということ』共文社など、授業で適宜紹介する。

国語科教育法

神谷道倫

中学校・高等学校の国語科教育の意義・現況、ならびに学習内容（領域）・教材に即したそれぞれの指導方法等の基礎的な事項について講義。しかるのち実際の教材にあたって、指導事項・指導方法等の研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

〔教科書〕『中学校・高等学校国語科教育法』〔新版〕（桜楓社） ¥ 880

書道科教育法

谷村義雄

書とは何か。中・高校に於ける書道科の教員として必要な知識と、書道をいかに学習するか、その研究法を教授する。

〔参考書〕文部省『芸術科指導要領解説篇』

宗教科教育法

松本皓一

宗教科の特質を述べ、宗教科教育を行う上に必要と思われる問題点を拾いあげて考察する。

後半では、教材研究を中心とする。

〔参考書〕必要に応じ指示する。

英語科教育法

大沢一雄

各種教授法について述べたあとで、新しい教授法がどうあるべきかを考える。なお、初級から上級までの各段階の英語教授について演習をおこなう。

社会科教育法（地理）

中 島 義 一

中学・高校の地理につき、指導計画、指導案の立て方、教材研究、地理クラブ・修学旅行の指導法等につき講じ、後半は授業演習を行う。その際に中学校の社会科教科書を使うが、これについては授業時に指示する。

〔教科書〕 山崎謹談『地理教育の本質と実践』（古今書院）

社会科教育法（地理）

高 木 久

1. 教師としての在り方
2. 地理学方法論の確認
3. 地理教育について
4. 新学習指導要領の内容
5. 地図指導
6. 教育実習の意義
7. 学習指導案の研究
8. 模擬授業

前期において講義を中心とし、後期においては教室での演習を専一とし、その批判・反省を行なっていく。

社会科教育法（歴史）

野 呂 肖 生

中学校・高等学校における社会科教育のあり方について、実際に即して考えてゆけるような講義にしたいと考えている。

社会科教育法

谷 敷 正 光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺し続けてきた。

したがって、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみた。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めたい。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本原則、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本原則、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容、⑨高等学校社会科の目標・内容、⑩教育評価、⑪教育実習のために、⑫教員採用試験の準備と今年度の採用について

(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究』(1) (高陵社)

遠山 啓『競争原理を超えて』(太郎次郎社)

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』(新日本出版新書)

無着成恭『山びこ学校』(角川文庫) その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書も使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修(授業参観)などを行う予定である。

社会科教育法

古屋野 素材

我が国において社会科について考えるということは、一教科の問題にとどまらず、必然的に教育問題全体の極めて重要な側面(教育をめぐる政治状況、児童生徒の生活現実と教科の接点等)を深く考察する方向へむかわざるを得ない。当講義では、この点をふまえて、社会科に関する歴史的な問題構造を検討し、かつ今後の社会科教育が果すべき役割とその可能性の検討を通じて、教育に主体的にかかわってゆく手がかりをさぐりたい。特に人文・社会科学の諸分野において、各自が専攻する領域で深い学識を得てゆく過程をこそ教職志向のバネとしてゆくことに価値を求め、所謂 Open System の主旨にそって、人文・社会諸科学と社会科の関係にも留意したい。

〔教科書〕 特に用いない。

〔参考書〕 講義の中で紹介する。

職業科教育法

中野目 直明

下記の事項について、教職についた場合に役立つような観点から、具体的事例を取り上げて講義を行う。

1. 現代における職業の意義
2. わが国における職業教育の歴史と課題
3. 職業高校の現状と課題
4. 高校の新教育課程
5. 学習指導案、学習指導計画の作成
6. 外国の職業教育

〔参考書〕 宮地誠哉・倉内史郎編『職業教育』(講座現代技術と教育4) (開隆堂)

1,600円

商業科教育法

谷 敷 正 光

「職業教育」の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつ

ねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。そして、今後の高校教育の「多様化」政策の破綻にともなう、再び大きく、軌道修正されようとしている。従って、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めたい。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育（商業教育）の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科目の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習のために、⑫教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する）。

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）

矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 無着成恭『山びこ学校』（百合出版） 遠山啓『競争原理を超えて』（太郎次郎社） 田代三良『高校生』（岩波新書）『いま学校で』（朝日新聞社）その他商業の教科書・新聞の切り抜き、雑誌なども使用する。

〔注意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。

商業実習

前田 幸一

国内を中心とした商業活動と商品取引活動における諸々の事務手続について授業を進めていく。

〔教科書〕 } 講義の際指示する。
〔参考書〕 }

職業指導

山田 勇治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学の単なる斡旋指導ではなくて、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸長し、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり教養教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治『会計教育論』（創成社） ¥ 1,300

産業概説

和田 禎一

資本主義経済発展の原動力は、産業革命以後の新しい産業の群生、その変化に負うところが大きい。そこで本講座では、まず産業の概念、産業構造、産業組織を、現代的視点で解説し、それらを基礎に、戦後日本経済の発展に関与した、日本の産業政策を概観、分析、評価することにした。

〔教科書〕 授業にさいして適宜指示する。

世界史概説

前田 正名

東アジア史の概説を中国を中心として行う。殷の国家構造から説きおこし、時期順にしたがって、各歴史時期の政治・経済に重点をおいて説明し、できるだけ文化にも触れたい。一応、宗代まで概説する予定である。

〔教科書〕 前田正名『東アジア史概説』（文化書房博文社）

世界史概説

青木 道彦

歴史的世界としての「ヨーロッパ世界」はどのように形成され、発展していったか。またその形成・発展は世界史的観点からみて、どのような意義をもつものであったか。こうした点を中心に講義をすすめたい。

教科書はとくに指定しないが、この講義を受講する機会に、下記の二つの参考書等「西洋史概説」を一冊よみこなしてほしい。

〔参考書〕 ① 祇園寺信彦編『西洋史要綱』（御茶の水書房）

② 衣笠茂他著『概説 西洋史』（東京創元社）

日本史概説

芥川 龍男

日本の中世に重点をおいて述べる。中世史の主要な問題を取りあげ、史料の解説なども加味しながら歴史研究法的一端を体得するよう配慮する。したがって、積極的な学習態度をのぞむ。一方的な講義ばかりでなく、質問などを通じて交流をもつ授業としてゆきたい。

〔教科書〕 『日本歴史の視点』2、中世（日本書籍） ¥ 1,800

〔参考書〕 竹内理三『日本史小辞典』（角川書店） ¥ 1,400 定価は改訂されていると思います。

地誌学概説

今朝洞 重 美

地誌学の本質論を考察しつつ、前期に日本地誌、後期に外国地誌を講義する。

地誌学概説

長 野 覚

世界的視野において、地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域的特色の概要を指導する。後期には中華人民共和国を含む幾つかの国を対象に、具体的なその国の地誌を学習する。受講の際は、きでるだけ地図帳を併用することが望ましい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎他共著『世界地誌』〔改訂版〕（大明堂） ¥ 1,700

地誌学概説

渡 辺 盾 夫

読図の方法を理解したのちに、地誌について各国の地域的な特色を入れて講義をする。受講の際には地図帳を持参すること。

自然地理学概説

早 船 元

人間生活の舞台である大地の形成過程について述べ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意（10枚程度）させ、それらをもとに種々なる作業（土地利用図・切峰面図・带状平行投影地形断面図等を作成）をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意のこと。

人文地理学概説

高 木 久

地理学思想・歴史を述べ、人文地理学の方法論を考察する。「地理的な見方、考え方」の基礎の上に立って、人文地理学の各部門（地図、自然、人文関係）について概説し、人文地理学の理解と関心を深める。

社会学原論

金 丸 由 雄

由来科学には絶対的教義はない。あるのは仮設群のみで、それらのうち信憑性の比較的高いものとそうでないもののみである。本講では社会学史上古典と目されるいくつかの理論ないし研究を対象とするが、それらは当然正しいかどうかの問題であるよりも、その扱っている問題の性質、アプローチの仕方、論理的方法、科学的理論としての性格などをこそ、重要な項目として注目するのである。

〔参考書〕 T. パーソンズ『社会的行為の構造』, R.K. マートン『社会理論と社会構造』

社会学原論

渡辺源樹

(1)現代社会学における理論と実証の結合、並びに(2)社会集団と人間の問題、という二つの論点を講義の重点に据え、現代社会学の課題とその主要問題をつとめて体系的かつ具体的に講述する。

経済原論

小野俊夫

いわゆる近代経済学は、微視的理論と巨視的理論を二大支柱としている。前者は個々の経済主体の分析から出発し、後者は一国全体の経済現象を直接分析することによって、資本主義の経済過程を解明しようとするものである。本講義では、巨視的理論に重点をおくが微視的理論にも注意を払いながら解説し、現代資本主義経済に関する分析力を養うことを意図している。

〔教科書〕 開講の際に知らせる

政治学原論

飯山勇

本講は、政治学の基礎理論の部分を取りあげ、その原理的究明に主眼を置いて講義を行なう。特に本講では現代政治についての理解を深める意図から、現代国家と政治過程に力点を置き、そのなかで大衆社会と政治的諸問題、政治過程と政治集団などに触れつつ、さらに主として、政治権力、国家、政治機構などを解明する。

〔教科書〕 飯山勇『政治学要論』（八千代出版）

民法 I

雨宮真也

民法のうち、総則・物権・担保物権の分野を講義する。

とくに、民法総則の分野においては、法律を学ぼうと最も基本的な多くの考え方が現われてくる。たとえば、法律行為（契約も手形行為も法律行為の一種である）とは何か、その成立・不成立、有効・無効などについての考え方である。

三年次以降において、民法Ⅱ・商法・経済法など法律科目を履修しようとする者は、民法Ⅰを履修しておくべきである。

〔教科書〕 雨宮真也外二名共著『民法読本Ⅰ（総則・物権・担保物権）』（高文堂出版社）

¥ 1,580。なお、来年度『民法Ⅱ』を履修する予定の者は、民法読本Ⅰ・Ⅱの合本である『民法読本（財産法）』¥ 2,350を購入しておくこと、引続き使用できる。

哲学特講 I

篠原壽雄

中国の哲学を考える時に、孔子の占める位置は大きい。儒学は孔子を頂点として発展し

てきた。孔子に対して、老子の議論は形而上学的である。莊子は老子をつぐ。この孔老莊をはじめとして、孟荀韓など先秦諸子の哲学は多彩である。これらの哲学を学び、より思索的である宋明の理学までたどりたい。そして中国人が古来追求してきたものは何か。それは生きている人間とどのようなかかわり合いをもつものか等を学びたい。

〔教科書〕 プリント

〔参考書〕 随時示す。

哲学特講Ⅱ

山下 太郎

西洋近世哲学史において一つの顕著な時代を劃したドイツ理想主義の哲学の流れを概観し、とくにヘーゲル哲学の形成と展開とを中心として講義する。またその批判的潮流としてショーペンハウエルの意志哲学にもふれ、哲学における主知主義と主意主義の比較をも試みたい。とりわけ社会哲学の側面に注目し、時代との連関を明らかにすることにつとめる。

〔教科書〕 山下太郎『社会存在の理法—ヘーゲルとショーペンハウエル—』

宗教学特講Ⅰ

松田 文雄

—宗教思想および用語の概説—、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔教科書〕 プリント

〔参考書〕 随時指示する。

宗教学特講Ⅱ

脇本 平也

—宗教現象の構造—宗教現象は、その内部にさまざまな構成要素をはらんだ複合的な体系をなしている。たとえば、宗教体験、思想・教義、儀礼、教団などの諸契機が構造的に連関しながらこれを形成している。そうした構造の分析と類型化を試みる。

〔参考書〕 適時指示する。

宗教学特講Ⅲ

洗 建

現代社会における宗教の問題、すなわち、新宗教運動、世俗化、政教関係などの問題について考える。今年は政教関係にかかわる問題を取りあげ、法的制度とそれを支える価値規範、更にもその底流にある伝統的宗教文化との関係などについて考察したい。

〔参考書〕 その都度、指示する。

教 育 史

磯 野 昌 蔵

開講時に指示する。

宗 教 教 育

櫻 井 秀 雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と実際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会編『現代青少年の宗教意識抄』

教育関係法規

汐 見 稔 幸

主として教職を志す人を対象にし、(1)戦後教育体制の確立の経緯と意義を論じたあと、(2)教職を志す人がぜひ身につけておきたい教育法規について概説する。

〔教科書〕 『教育関係小六法』（できれば学陽書房「教育小六法」58年版）

書 道 実 習 I

金 子 卓 義

古典の臨書による、筆法、形態などの研究を主に書道全般にわたる基礎知識を学ぶ。

〔教科書〕 ○『書道Ⅰ』（高校用教科書）教育出版社 ○『中国の書道孟法師碑』（書芸文化新社）

書 道 実 習 II

金 子 卓 義

古典の臨書によって書法を学び、表現力を養い、作品製作にまで導く。

〔教科書〕 『書道Ⅱ』（教育出版社）、『祭姪稿、争座位帖』（書芸文化新社）

図 書 館 学 I

若林元典・山崎慶子

児童、生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれをすべての生徒に提供できるか、それらを利用する力を高めるにはどうしたらよいか、又人間形成に役立つ読書のあり方等の追求を学校図書館活動として考えて行きたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」で、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『学校図書館通論』（学芸図書）

図 書 館 学 Ⅱ

若 林 元 典

小・中・高校における教育活動の肉付けとなる教材資料のうちで最も基本的な図書資料を主とし、それに図書以外の資料を加えて、各種資料の収集・整理・利用のために必要とされる知識・技能の修得を目指している。

整理は利用のための整理であり、利用の能率と効果は良質な資料の収集と適切な整理によって裏付けられる。したがって図書館学は収集・整理・管理・利用の全領域にわたる資料運用の学である。

「図書の分類」、「図書の目録」、「資料の選択」、「図書以外の資料の利用」が講義内容である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『学校図書館通論』（学芸図書）

『図書館学演習資料 後編』全国学校図書館協議会

博 物 館 学

倉 田 芳 郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」と有機的に関連をもたせてあるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組む上で、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難かしいかもしれない。本講義は博物館学の基本を講ずるので、この講義を聴くだけで博物館を全く識るというわけにはゆかない。その点からいえば社教主事になる方は、なるべく他の選択科目を受けていただきたい。4月第1週の時間に必ず出席すること。

博 物 館 実 習 Ⅰ（館務）

倉田芳郎・石井則孝

博物館で10日間学芸員について実習を行う。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。

博 物 館 実 習 Ⅱ（収集）

倉田芳郎・葉貫磨哉
所理喜夫・加藤晋平

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の子定である。このうち、1つを履修すればよい。

1. 石仏・文書収集調査 長野・9月下旬
2. 石仏収集調査 長野・10月上旬
3. 考古発掘調査 東京・7月後半

4. " 群馬・3月中
5. 遺跡分布調査 千葉・2月中
6. 遺跡分布調査 群馬・3月中
7. 個人の特殊テーマによる収集調査 時期は相談

博物館実習Ⅲ（見学）

倉田芳郎・鶴丸俊明

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習は半期行うのであるが、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第週に出席すること。

博物館実習Ⅳ（特講）

石井則孝

博物館が活動している調査、収集、保管、展示が、実際上どのようなかたちで流れ、広報普及によって、いかに博物館が一般大衆のものになりうるのか、さらに、博物館が大学と同レベルの研究施設として機能していけるのか、過去10年間における博物館建設と運営の経験から実践的博物館学を教え、学芸員という資格をフルに活用できる知識を学ばせたい。日本の博物館のほとんどが、建物→物→人の順序の中で新設されており、人→物→建物へと進む本来の姿に戻すべき基本姿勢なども講義したい。又、博物館が見せるという立場から、企画の重要性面白さ、困難さなども、毎日のように公開されているデパート展などの内容も取り入れて講義する。

視聴覚教育

神山順一

(Ⅰ) 前期は、コメニウス (J・A・Comenius) を始祖とする視聴覚教育の理論について講義をおこなう。とくに E・デール (E・Dale) によって集大成された "Audio-Visual Method in Teaching" を中心とし、とりわけ視聴覚的方法の教育思想に占める意義について歴史的に考察する。

(Ⅱ) 後期は、視聴覚教育の用具と方法について個別的に検討を加え、各用具の特性を明らかにする。スライド、OHP (オーバーヘッドプロジェクター)、映画、ラジオ、テレビ、録音、録画 (VTR、カセット教材) 等。

さらに以上の理解の上で、ハードウェアとソフトウェア、各教材の制作状況、視聴覚ライブラリー、著作権、自主教材制作などの諸問題について考察する。

〔教科書〕 とくに指定しない。

〔参考書〕 講義の進行にともない随時指示する。

日本文化史 Ⅱ

杉山 博

日本文化を創造し発展せしめた基盤を形成した職人層について、中世に残された4つの職人歌合絵巻を中心にして、その具体相を明らかにしたい。

〔教科書〕 プリント使用

西洋文化史 I

渡辺 茂

アフリカ大陸の文化史。

- (1) アフリカ大陸文化の前提条件としての自然環境。
- (2) 人類の原始故郷たるグレート・リフト・バレー。
- (3) タッシリ・ナゼールの岩壁画に反映したサハラにおける民族移動。
- (4) 現存するアフリカ最古の人種たるコイサン族とその岩壁画の分布。
- (5) 最初の黒人帝国とその製鉄技術。
- (6) 19世紀以降におけるアフリカ内部の探検史。
- (7) 近代におけるヨーロッパ列強の黒人貿易とその影響。

西洋文化史 Ⅱ

阿部 重雄

今年度はまず、1000年間に亘るビザンチン史を展望して、それから、東ヨーロッパの——特にロシア史を中心として——文化の特色を、西ヨーロッパ史の発展と対比しながら講述する。

〔教科書〕 } 追って講義中に指示する。
〔参考書〕 }

仏教美術

金子良運

わが国の美術はごく近世にいたるまで、直接間接を問わず、そのほとんどが仏教との係り合をもち、その影響下に造形されている。したがってそれを理解するために、単に形式上の特長だけでなく、造形を生み出した背景として、思想的な展開とともに、政治あるいは経済的な推移も併せて考察する。

現代美術

中山典夫

印象主義にはじまる現代美術の流れを、絵画作品を中心にして、追ってゆく。講義にはスライドを用いる。

禅 美 術

竹 内 尚 次

禅林美術は、禅宗教団の成立以後の産物で、禅宗教団（叢林）の発生・展開のなかで禅林美術を考へてゆきたい。しかも、もっと広い仏教美術の視野のなかで。

したがって宋元美術でいえば、教団の貴族化とともに伽藍法に傾斜し、道教・浄土信仰・儒教などの要素がはってくる。

日本美術では、奈良・平安時代の顕教や密教や浄土信仰の美術作品も、当然考えあわせなくてはならない。

したがって、国宝を中心としてそれぞれの時代の代表作品を拾って集中的に一つ一つを考へてゆくことになる。

それも学生諸君が自分の手と足で探究するお手伝いをするだけである。

〔参考書〕玉村竹二『夢窓国師』（平楽寺書店）、『国宝』（毎日新聞社）、『水墨美術』（講談社）

美 術 史 概 説

杉 山 二 郎

本校は曹洞宗に縁由があり、仏教文化、仏教美術について一般的な知識はもちろん、僧侶に必要な図像学的な知識（Buddhist Iconography）を含めて、諸君に教授してみたい。日本仏教美術史といった内容で、仏教文化の受容前期から天平時代を本学年のうちに講じてみる。朝鮮、中国、中央アジアの仏教文化をも常に参照し、その遺物遺構をスライドを通じ、また時に博物館を見学してその美的享受をも示唆したいと考えている。

〔参考書〕講義中に逐次呈示するが、杉山二郎著『大仏建立』学生社を参照のこと。

西 域 美 術 史

杉 山 二 郎

今やシルク・ロードのブームが巷間に満ちTVに及んでいるが、仏教東漸の道として、東西文化交渉史の交点として存在する中央アジア・西アジア地域の各民族の興亡と、彼等の残した遺物、遺跡を中心に一年間論及してみたい。なかでも沙漠とオアシス都市のメカニズム（印度、西方極楽浄土の起源論、地獄観の発生と展開など）を中心に、西アジア諸宗教、遊牧民社会と農耕民社会の美術に及ぼした影響問題など克明に追究論及してみたい。

〔参考書〕講義中に逐次あげるが、杉山二郎著「正倉院」 瓊璃書房刊と「西アジア考古美術誌」NHK ブックスをとくに参照のこと。

考 古 学 概 説 I（日本）

倉 田 芳 郎

考古学研究の基礎知識を身につけるように、という点に立って講義をする。今年度は、ヨーロッパの考古学の発達に重点をおいて話す予定である。歴史学科学学生にとっては、概説の選択必修科目である。また、学芸員課程の学生にとっての選択必修科目でもある。年

度第1回目の授業には必ず出席してほしい。特に教科書は使わない。

考古学概説Ⅱ(外国)

飯島武次

本年の考古学概説Ⅱ(外国)は、東洋(中国、朝鮮、東南アジア)における考古学研究について講義する。

〔参考書〕江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版)、文物編集委員会『中国考古学三十年』(平凡社)

考古学特講Ⅰ

後藤和民

○縄文時代の社会

1. 縄文時代の主体者——(1)縄文人種論 (2)原日本人論
2. 縄文土器の研究——(1)土器型式論 (2)土器製作技術
3. 縄文時代の生産技術——(1)狩猟技術, (2)漁撈技術, (3)縄文農耕論, (4)千貝加工, (5)製塩, (6)交易の問題
4. 縄文時代の集落——(1)集落の捉え方, (2)集落の定義, (3)集落の立地, (4)集落の定着性 (5)居住形態の変遷
5. 縄文時代の社会規制——(1)埋葬形態, (2)竫歯形態, (3)装身具, (4)特殊遺構, (5)特殊構物, (6)集団領域
6. 縄文時代の共同体——(1)共同体の捉え方, (2)特殊埋葬, (3)大型貝塚と小型貝塚, (4)集落間の分業, (5)交易, (6)食人論批判, (7)戦争のない社会, (8)共同的社会

考古学特講Ⅲ

坂詰秀一

仏教考古学について講じる。仏教考古学は、西欧における聖書考古学とともに宗教考古学の一分科として位置けられているが、その組織化は日本において試みられてきた。本講では、かかる現状を踏えて、仏教考古学の概念をめぐる問題、研究の学史的展開、組織の具体的内容について触れることにしたい。

日本民俗学

山折哲雄

柳田国男と折口信夫の仕事をもとに日本現代史の流れのなかで位置づけ、その文学的性格と思想的意味を吟味してみようと思う。

〔参考書〕山折哲雄『霊と肉』(東大出版会)

仏教民俗学

和田 謙 寿

文化財の集いや郷土史研究会などに臨んだ場合、必ず仏教文化的な知識が必要となる。また、葬式や法事などに出かけると必ず仏事などに関する質問を受けるものである。このような場合に対処できるように、冠婚葬祭のうち、とくに、葬祭面に重点を置いて、今年の講座を進めて行きたいと思う。なお、実地巡検や特殊ゼミを実施することがあるので、年額1～2万円の費用を用意する必要があると思う。

〔教科書〕和田謙寿『仏教の地域発展』—民俗学・歴史学的考察—（仏教民俗学研究会）

¥ 2,600

宗教人類学

佐々木 宏 幹

まず宗教人類学の成立史と構成内容・方法について概説し、のちに個別の課題を取りあげて解説する。対象地域を東・東南・南アジアの民俗社会に限定し、それらにおいて営まれている宗教現象と社会生活とのかかわり合いについて考える。呪術的方法と科学(医術)的方法との関連などについて最近の成果を紹介する。学生諸君からも地域社会で行われている儀礼・慣行などについて意見を述べてもらう。

〔参考書〕佐々木宏幹『人間と宗教のあいだ』（耕土社） ¥ 1,500

社会福祉概論

原 田 信 一

社会福祉という言葉も、近ごろではごく一般的日常用語として普及し、安易に使用されるようになってきている。ところで、真の社会福祉学とは一体どんな学問なのであろうか、本講においては、社会福祉学の基礎概念をふまえて、まず、主として福祉学を広義視点から講述し、さらには各論面（児童福祉、老人福祉、障害福祉、地域福祉等）にふれ、併せて方法論（ケースワーク、グループワーク、スーパービジョン、コミュニティオーガニゼーション等々）についても体系的に講述する。

〔教科書〕 } 開講時に指示する。
〔参考書〕 }

障害福祉論

原 田 信 一

主として、わが国における心身障害児(者)福祉の発展過程をその淵源にさかのぼりつつ講じたい。なかでも、とくに、思想面（社会的規範）と政策面等の二面的視角にたち、原点を探るとともに、さらに欧米先進諸国のそれとの対比から、わが国の心身障害福祉の見直しをはかり、新たな課題構築の素としてもらう。

〔教科書〕 星野他編『障害福祉論』（有斐閣）

〔参考書〕 林邦雄他『心身障害児(者)福祉』（田研出版）

社会福祉実習

原 田 信 一

これまで自らが、大学の場合において学びとってきた福祉の学問を、実習現場において、実際の福祉従事体験とを通して福祉の本質の一端を学びとってもらう。一方大学では、実習前と実習後に、オリエンテーション、現業機関の組織、機能等を実践に即した概説などをトータル的に教導し、反省・討議をもあわせて行う予定である。また、実習にのぞむにさいしては、各自が、実習の目的を適確にとらえ、何をとくに実習するかの問題意識を整理し実習にのぞんでもらうことについては今更言うまでもないことである。

〔教科書〕 橋本泰子他編『社会福祉実習』（相川書房）

地域福祉論

岡 田 真

「地域住民に“根廻し”をするにはどうすべきかを論ずる授業である。“根廻し”はなぜ施さなければならないのだろうか。それは、ケースワークやグループワークを、現実の住民生活のなかに定着させるためである。

①地域福祉の基本課題。②コミュニティ・ケア。③コミュニティ・オーガニゼーションが、本講の内容であるが、第①のテーマはそのまま地域問題論である。従って、同じ担当者の都市社会学を、ともに知ってくれることが望ましい。（もちろんろん本講だけを履修する人に不利や理解困難が生じないように細心の工夫はするが）

〔教科書〕 岡田真『コミュニティ・ワーク論—地域を根廻しする—』（大明堂）

〔参考書〕 岡田真『都市化日本の学歴社会』（大明堂）

岡田泰一『現代コミュニティ論』（東大出版会）

ケース・ワーク論

高 橋 重 宏

ソーシャル・ワーク実践の専門技術の一つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ソーシャル・ワークの概念、歴史的展開過程、基礎的知識、関連理論、ケースワークの原理、ケースワークの過程等について入門的概説をする。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かが体系的に理解できるようにつとめたい。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）
小松源助・山崎美貴子編『ケースワークの基礎知識』（有斐閣）

グループ・ワーク

松 本 栄 二

社会福祉実践の基礎としてのソーシャルワークについて考えてゆく。特にグループをソーシャルワークにおいてはどの様に利用し、展開してゆくのかに質点づけた内容となる。

医療の場におけるグループワーク、収容施設におけるグループワーク、行政サービス

機関、例えば、児童相談所や、精神衛生センターにおけるグループワーク等、具体的事例を提供しながら講義をすすめる予定。

社会調査

川本 勝

社会調査は、社会事象や社会的現実を科学的、実証的に把握し、分析するための研究方法であり、直接現地調査によってデータを蒐集し、それを分析することに特色がある。

したがって、まず理論と調査との関係を考察した上で、社会調査を企画し、実施し、データを分析する手順にしたがって、その過程で用いる技法を具体的な例を示しながら講義する。

講義科目ではあるが、仮説の説定や調査票を作成するなど、2、3の作業を行いレポートの提出がある。

〔参考書〕 福武・松原編『社会調査法』(有斐閣)

安田三郎『社会調査ハンド・ブック』(有斐閣)

児童福祉論

原田 信一

今日、児童をめぐる法律・制度は整備され、社会福祉分野においても、いちじるしい進歩をみた。しかし、現実面では必ずしもそうとばかりはいいきれない。つまり、日々、目まぐるしく激動する社会で、引切り無しに生起する種々の児童福祉侵害問題に対応しきれない状態が今日の姿である。児童の人権無視にはじまり、公害・家庭崩壊・機能低下など限りなく現出し、まさしく児童福祉の危機的様相をみせている。そこで、本講においては、児童福祉を広い視座から考察し、児童への理解と併せて、児童に関連ある法制度にも言及しさらに、狭義の児童福祉事業(児童福祉法など)の関連にもふれ講じてゆきたい。

〔教科書〕 原田信一『現代児童福祉学』(学文社)

老人福祉論

浅野 仁

1. 老人問題の背景
 - 1) 社会、経済的状况
 - 2) 心身の状況
2. 老人福祉施策の現状と課題
 - 1) 施設サービス
 - 2) 在宅サービス
3. 老人のための処遇方法
 - 1) 個別処遇
 - 2) 集団処遇
4. 諸外国の老人福祉

〔教科書〕『図説老人白書』1981年版（碩文社） ¥ 2,600

社会福祉事業史

小 沼 正

わが国近代的社会福祉事業の発達を歴史的に解明するために、先ず英米に例をとりたい。そこでは、どのような時期に、どのような主体（中央政府、地方自治体、民間団体など）で、どのような対象に、どのような方法で進められていったか、そしてそれらに対する住民の意識と対応がどのように変っていったか、などが問題である。

つぎにこれを下敷きにして、とくにわが国明治維新以降の歴史を考察していきたい。

〔参考書〕 右田紀久恵・高沢武司・古川孝順『社会福祉の歴史』（有斐閣選書）

小山路男『西洋社会事業史論』（光生館）

社会福祉法制

高 橋 政 美

本講では、日本国憲法第25条の考察をてはじめに、社会福祉関係法（福祉六法を中心とする）全体にわたる概要の把握を主たる目的とする。

〔教科書〕 小川政亮『社会事業法制』（ミネルヴァ書房）

公的扶助論

林 千 代

貧困は、どのような時代においても人々の生活をおびやかす基本的なかつ切実な要因である。公的扶助への理解は、この貧困についての考え方を明確にさせることから始まるといえる。そして社会保障制度の中で、現実最後のよりどころとなっている生活保護について、その考え方、系譜、制度内容現実態にわたって述べる。公的扶助は、他法との関係、医療や障害、老後保障の動向とも深くかかわりをもつものであり、このような点からも考えたい。

〔教科書〕 未定

〔参考書〕 小沼正『貧困——その測定と生活保護』（東京大学出版会）

籠山京『公的扶助編』（光生館）

社会保障論

小 沼 正

先ずわが国現行制度のうち医療保障、年金保険、公的扶助、児童手当などについて、その問題点を取上げる。

ついでこれらをふまえて、その生成と発展に視点を置いて、欧米諸国をも含めて、社会保障の体系、社会経済的条件、財政などについて、論点を進めていきたい。

必修科目（とくに社会福祉コース専攻者において）に準ずるものとして、できるだけ2年次に履修することが望ましい。

〔参考書〕 小山路男・山本正淑編『社会保障教室』（有斐閣選書）

精神医学

植村 肇

前期には精神の健康（精神保健）、精神医学・精神衛生の歴史、大脳の構造と生理学的機能などを基礎に精神機能の異常性、精神障害の原因と行政施策、精神障害の診断と治療心身相関などの大要を述べ、更に精神医学の進歩と課題にも触れる。

後期には各論的に離婚・嗜癖（慢性中毒）、自殺、非行・犯罪などの適応障害と精神薄弱、性格異常、神経症、精神病などの精神障害について、具体的に説明する。

〔教科書〕 植村肇『現代人のための精神保健』（ぎょうせい） ¥ 1,600

社会教育概論

長浜 功

前期は社会教育にとらわれず、日本の教育の問題について論及したい。その基礎をふまえて後期において社会教育の本質と問題を論ずることとする。

〔教科書〕 長浜功『日本ファシズム教師論』（大原新生社）

社会教育方法論

上岡 安彦

人間形成の過程を広い視野の下に方法論として論究してみようとする。

〔教科書〕 ノバート・ウィーナー（池原・鎮目訳）『人間機械論』 ¥ 1,600

社会教育行政財政

長浜 功

できるだけ社会教育の現場の話を具体的に紹介し、そこにおける社会教育実践の問題の分析を行う。

〔教科書〕 長浜功『社会教育の思想と方法』（大原新生社）

教育社会学

村山 輝吉

人間の発達という課題を、主として社会環境と文化の変容という視点から考察する。

1. 教育社会学の性格
2. 社会化と教育
3. 家族の訓育機能
4. 仲間集団と人間形成
5. 学校の陶冶・形成機能
6. 地域社会と教育
7. 文化の変容と子どもの発達
8. 現代の教育制度・政策と子どもの発達

社会心理学

水原泰介

この講義では、社会的知覚（印象形成、帰属など）、社会的影響（同調、態度変化など）、対人関係（協力、競争、援助、攻撃など）、集団力学（集団構造、リーダーシップなど）について、これまでの社会心理学的研究が、どのような方法を用いて、どのようなことを解明しているかを解説する。そして、これらの研究によって明らかにされた諸原理の社会生活への応用について考察する。

【参考書】 水原泰介『社会心理学入門』（東京大学出版会）

社会教育施設

村山輝吉

1. 社会教育施設の意義
2. 社会教育施設の歴史と現状、関係法規
3. 施設各論
(1)公民館 (2)公共図書館 (3)博物館 (4)その他
4. 施設職員の問題
公共図書館を重点にとりあげて考察する。

児童教化

北田耕也

- 1 明治の少年期と立身出世主義
- 2 大正芸術教育運動と「子どもの発見」
- 3 生活綴方教育と子どもの社会認識
- 4 戦後教育と子どもの共存感覚
- 5 現代の教育・文化状況と子どもの問題

【参考書】 } 講義の進行にしたがってそのつど指示する。
【教科書】 }

青少年問題研究

和田謙寿

中学校や高等学校の教師をめざす者。または、青少年の指導者を志す人々を対象とし、その理論と現実の両者をつつめつつ講義をして行きたい。特に学校の教師となる場合は、専攻した学科は当然なこと、受持ちクラスの生活指導にも多大な比重で尽くさばならぬ。その点に深く留意して授業をすすめる事にする。（更に深く研究をしようとして心掛ける者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法であろう。）家庭内暴力の問題、校内暴力、青少年の薬物乱用、暴走族、青少年の異性問題など、種々社会の問題としてとりあげられているが、これらの問題も時間の許す限り取組みたいと思っている。

【教科書】 和田謙寿『少年補導の研究』（全国防犯協会） ¥ 1,500

青少年指導演習

和田 謙 寿

国や地方公共団体が年々増加する青少年の非行化に対応して万全の策を尽くしているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけでは済まされぬものではなく、現実面からの考察が必要である。将来、少年補導員や青少年補導員、民生委員（児童委員）社会教育主事や福祉主事、生活指導教諭に従事しようとする人々には、ぜひとも必要な講座である。最近の新聞報道によれば、現在の学校教師や福祉主事の仕事を果たすためには、青少年の非行化は是正指導に通じていなければ用をなさないと言われている。この線に沿って、少年補導学、ケース・ワークを中心に考察して行きたい。

〔参考書〕 和田謙寿「補導必携」（創作出版社） ¥ 850

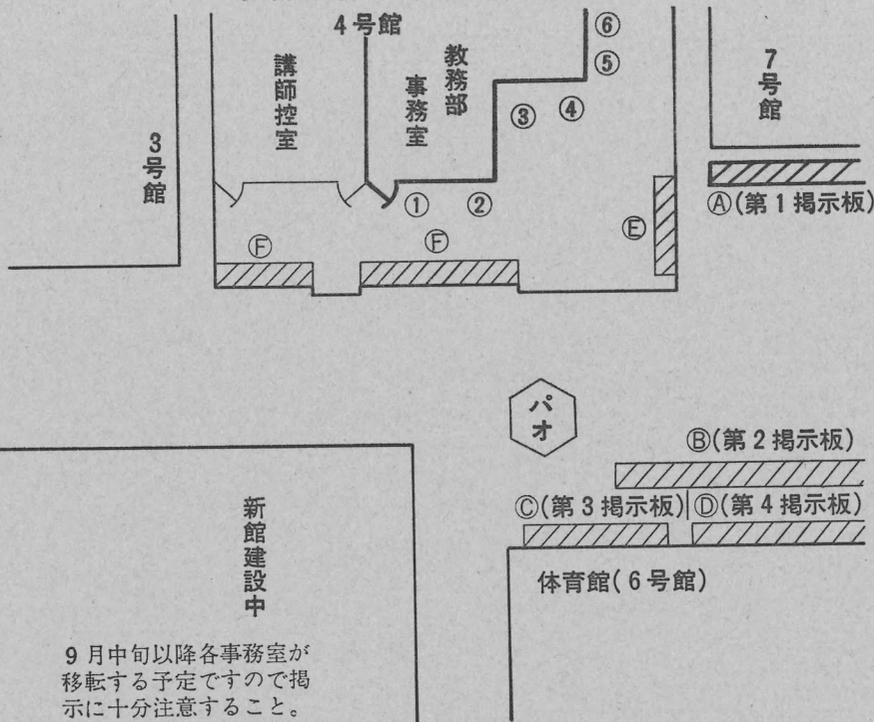
社会教育演習

上 岡 安 彦

社会教育主事その他社会教育の職員を目指すものに対し、見学、現場実習、討議研究により、社会教育の実際に関する知識、技術を会得させようとする。



教務部窓口及び掲示板案内



学 務 課 ① 番窓口……

学則・履修要項・入試・転部科・編入学・休講・卒業
証書・研究室・教材教具・時間割・教場

教 職 課 程 ② 番窓口……

教員免許・社会教育主事・社会福祉主事・学芸員・
学校図書館司書教諭

教務課第一 ③ 番窓口……

履修届・学業成績・試験

証 明 書 ④ 番窓口……

成績証明書・卒業(見込)証明書・学士証明書・一般
教養科目修了(見込)証明書・単位修得証明書

教務課第二 ⑤ 番窓口……

大学院・卒業論文・演習

学 籍 ⑥ 番窓口……

学籍移動・身上関係諸届(休学願・退学願・復学願・
改姓名・本籍地変更・保証人変更)・聴講・在籍証明書

①……………公示・告示その他連絡事項

②……………研究室専用

③……………学部別連絡事項その他

④……………休講掲示板(当日分)

⑤……………休講・教職

⑥……………授業時間表カウンター

